



＼ みんなの声がミライをつくる /



ぐんまこどもモニター

第2回アンケート 報告書

2025年 1月

群馬県生活こども課

01. 調査概要



調査目的

- 群馬県のこども施策に当事者の意見を反映するため、こどもや若者の皆さんの意見を聴く。
- アンケート結果は、群馬県が新たに策定する「こども計画」の参考とする。

調査期間

令和6年9月27日（金）～10月14日（月）

調査対象

ぐんまこどもモニター 298名

調査方法

WEB（フォーム）による回答

回答数・回答率

230件、77.2%

		第2回アンケート回答		
年齢区分	モニター数	人数	構成比	率
合計	298 名	230 名	—	77.2%
小学生 (4～6年生)	135 名	108 名	47.0%	80.0%
中学生	74 名	61 名	26.5%	82.4%
高校生世代	34 名	26 名	11.3%	76.5%
大学生世代	55 名	35 名	15.2%	63.6%

アンケートの質問



～ 休日^すの過ごし方～

- ・ 質問1 学校がお休みの日（土日や夏休みなど）にだれと過^すぎ時間が長いですか？
- ・ 質問2 学校がお休みの日（土日や夏休みなど）はどのように過^すぎるのが好きですか？



～ 自然^{しぜん}とのふれあい～

- ・ 質問3 県立赤城公園（赤城山）に行ったことはありますか？ 行ったことがある人は、なぜ（何をしに）行きましたか？
- ・ 質問4 【質問3で「8.行ったことがない」を選んだ人だけが回答】赤城山に行ったことがない理由は何ですか？
- ・ 質問5 あなたや家族、友だちが、もっと赤城山に行ってみたい！と思うには、どう変^かわったらよいと思いますか？
- ・ 質問6 「尾瀬^{おぜ}」に行ったことはありますか？
- ・ 質問7 「尾瀬^{おぜ}」といえば「これ！」「こんなところ！」と思いつくものは何ですか？
- ・ 質問8 童謡^{どうよう}・唱歌^{しょうか}の「夏の思い出」を知っていますか？



～ 文化・芸術^{げいじゆつ}とのふれあい～

- ・ 質問9 群馬県が運営^{うんえい}している県立の美術館・博物館^{びじゆつかん}のうち、「知っている」ところをすべて選んでください
- ・ 質問10 群馬県が運営^{うんえい}している県立の美術館・博物館^{びじゆつかん}のうち、「行ったことがある」ところをすべて選んでください
- ・ 質問11 【質問10で1～6を選んだ人だけが回答】県立の美術館・博物館^{びじゆつかん}に行った理由は何ですか？
- ・ 質問12 上毛かるたを暗記^{あんき}していて、何も見ずに言うことができますか？
- ・ 質問13 上毛かるたをどこで遊^{あそ}んでいますか？（いましたか？）
- ・ 質問14 上毛かるたの大会に出たことはありますか？
- ・ 質問15 上毛かるたは群馬県にとって大事なもの（宝^{たから}）だと思いますか？
- ・ 質問16 「アート」（芸術^{げいじゆつ}）という言葉で思いつくもの、イメージは何ですか？
- ・ 質問17 これはいいな！と思うアートはどのようなものですか？
- ・ 質問18 【中学生以上の人だけが回答】こどもたちが「アート」に触^ふれる機^き会^{かい}を増やすには、どのようなこと^{ひつよう}が必要^{ひつよう}だと思いますか？

アンケートの質問



～学校の部活動などについて～

- 質問 19 部活動や習いごとなどで、どのようなスポーツ、文化、学習の体験をしたいですか？（したかったですか？）
- 質問 20 【小学生だけが回答】今、学習塾以外で、どんな習いごと（スポーツ、文化活動）をしていますか？
- 質問 21 【(小学生だけ) 質問20で、1・2・3を選んだ人だけが回答】今、行っている習いごとを具体的に教えてください
- 質問 22 【(小学生だけ) 質問20で、4を選んだ人だけが回答】習いごとをしていない、できない理由を教えてください
- 質問 23 【中学生以上の人だけが回答】中学校や高校の部活動で、やりたいこと（スポーツ、文化・学習系の活動）ができていますか（できましたか）？
- 質問 24 【(中学生以上) 質問 23 で2または3を選んだ人だけが回答】やりたいことができなかったり、部活動をしていない（していなかった）理由を具体的に教えてください。
- 質問 25 【中学生以上で、部活動の経験がある人だけが回答】部活動をしていて、充実感を感じるのはどのようなときですか？具体的に教えてください。



～学校の校則やルールについて～

- 質問 26 学校で決められている校則やルールについて、おかしいと思うこと（思っていたこと）はありますか？
- 質問 27 学校の校則やルールがおかしいと思ったとき、あなたならどうしますか？
- 質問 28 学校で決められている校則やルールは、なぜ必要だと思いますか？
- 質問 29 今回のアンケートに関係することや、群馬県が行うことにも関するさまざまな取組について、伝えたい意見があれば自由に書いてください

【休日の過ごし方】

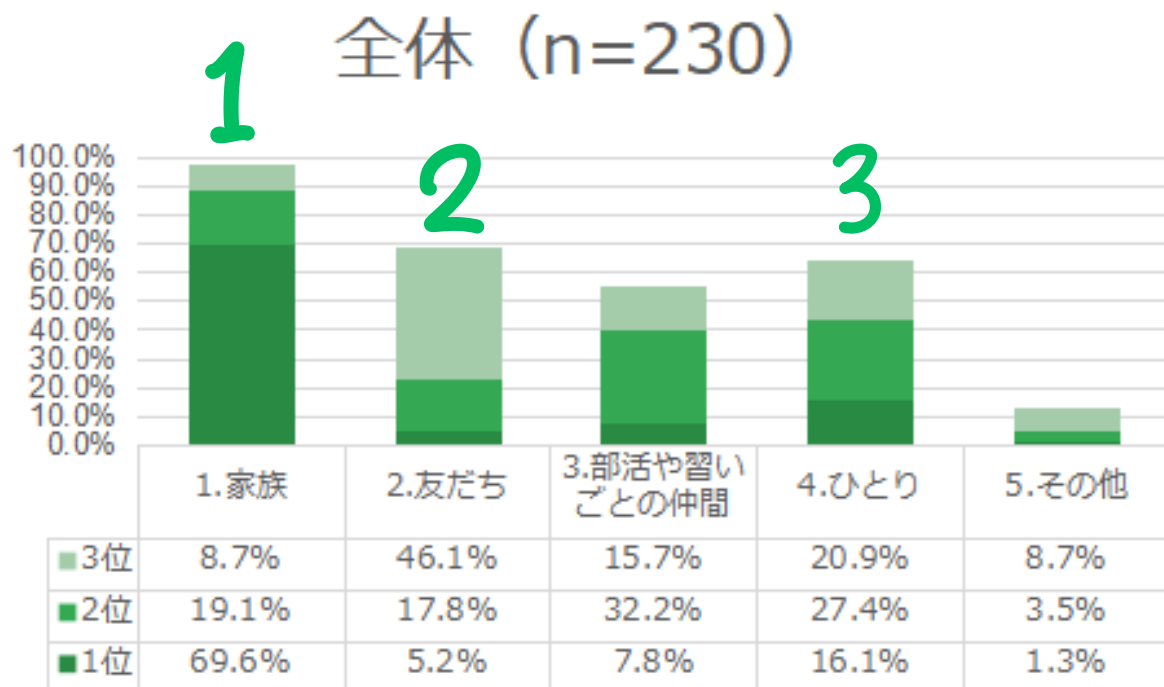
質問1

学校がお休みの日（土日や夏休みなど）にだれと過ごす時間が長い
ですか？特に長い順に、1位～3位を選んでください。

- ・ 全体では多い順に「1.家族」「2.友だち」「4.ひとり」でした
- ・ 小学生は全体の順位と同じで「1.家族」「2.友だち」「4.ひとり」でした
- ・ 中学生、高校生世代では「3.部活や習いごとの仲間」と過ごす時間も多かったです
- ・ 大学生世代では「4.ひとり」で過ごす時間が一番多かったです

【回答項目】

1.家族（親やきょうだい、^{そふぼ}祖父母）、2.友だち、3.部活やサークル、習いごとの仲間^{なかま}、4.ひとりで過ごす^す、5.その他



年次別の延べ1～3位

小学生
(n=108)

1位 「1.家族」
2位 「2.友だち」
3位 「4.ひとり」

中学生
(n=61)

1位 「1.家族」
2位 「3.部活や習いごとの仲間」
3位 「4.ひとり」

高校生世代
(n=26)

1位 「1.家族」
2位 「2.友だち」
3位 「3.部活や習いごとの仲間」

大学生世代
(n=35)

1位 「4.ひとり」
2位 「1.家族」
3位 「2.友だち」

【休日の過ごし方】

質問2

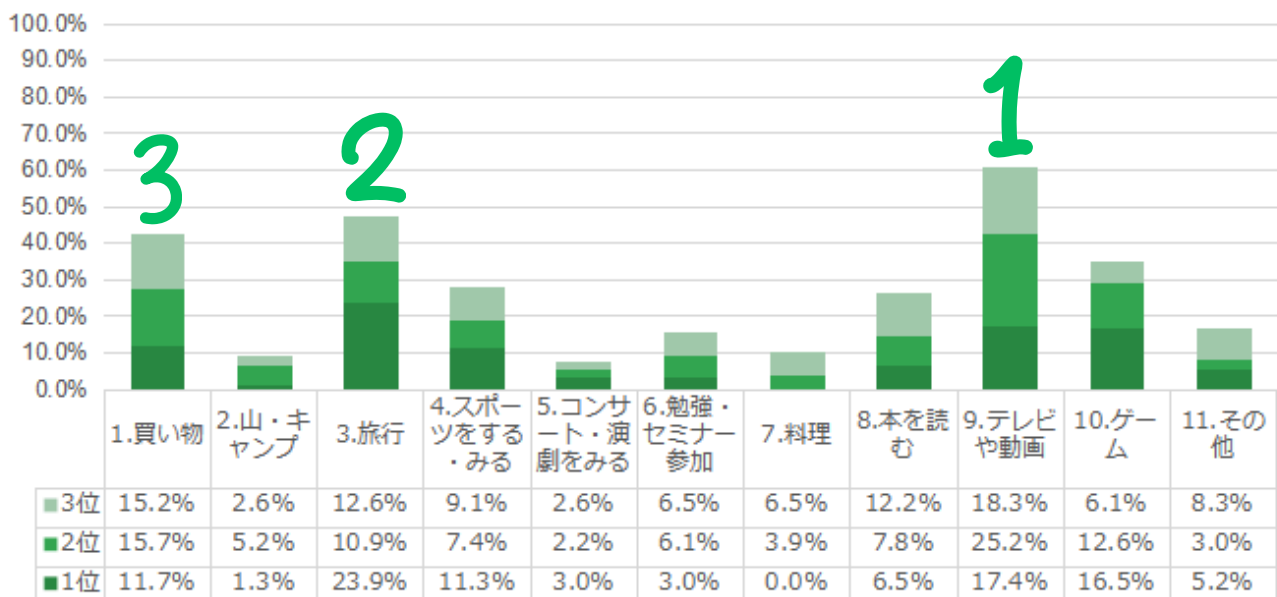
学校がお休みの日（土日や夏休みなど）はどのように過ごすのが好きですか？特に好きな順に、1位～3位を選んでください。

- ・ 全体では多い順に「9.テレビや動画」「3.旅行」「1.買い物」でした
- ・ 小学生の好きな過ごし方の1位は他の世代と違い「3.旅行」でした
- ・ 中学生以上の1位・2位は同じで1位「9.テレビや動画」2位「1.買い物」でした
- ・ 3位は小学生・中学生が「10.ゲーム」なのに対し、高校・大学生世代は「3.旅行」でした

【回答項目】

1.買い物を楽しむ、2.山・キャンプに行く、3.旅行（テーマパークや温泉など）に行く、4.体を動かしたりスポーツをする・みる
5.コンサート・演劇をみる、6.勉強をする・セミナーなどに参加する、7.料理やお菓子づくり
8.本を読む、9.テレビや動画を見る、10.ゲーム（eスポーツ）をする、11.その他

全体（n=230）



年次別の延べ1～3位

小学生

（n=108）

1位 「3.旅行」
2位 「9.テレビや動画」
3位 「10.ゲーム」

中学生

（n=61）

1位 「9.テレビや動画」
2位 「1.買い物」
3位 「10.ゲーム」

高校生世代

（n=26）

1位 「9.テレビや動画」
2位 「1.買い物」
3位 「3.旅行」

大学生世代

（n=35）

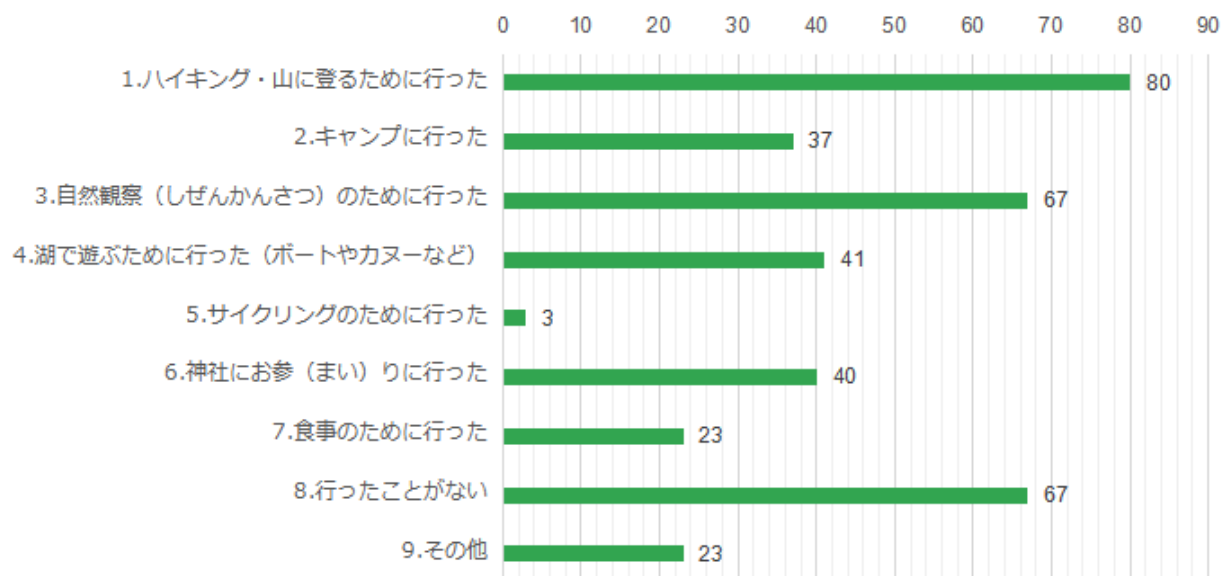
1位 「9.テレビや動画」
2位 「1.買い物」
3位 「3.旅行」

【自然とのふれあい】

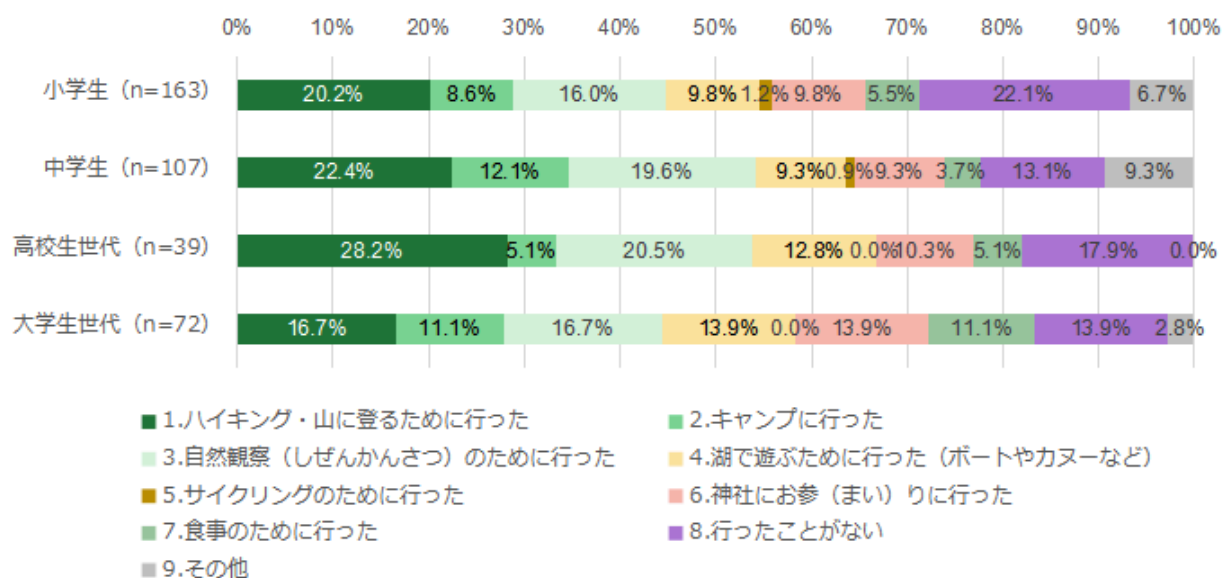
質問3 県立赤城公園（赤城山）に行ったことはありますか？ 行ったことがある人は、なぜ（何をしに）行きましたか？ ※学校の活動で行った場合も含みます ※いくつでも選べます

- 全体では多い順に「1.ハイキング・登山」「3.自然観察」「8. 行ったことがない」となり、次いで「4.湖で遊ぶ」「5. 神社にお参り」が多かったです
- 小学生は多い順に「8. 行ったことがない」「1.ハイキング・登山」「3.自然観察」でした
- 中学生は他の世代と比べ「8.行ったことがない」は一番少なかったです
- 高校生世代は「1.ハイキング・登山」が他の世代に比べ一番多かったです
- 大学生世代の理由はさまざまで「5.サイクリング」「9.その他」以外は、すべて10%以上ありました

全体合計数（n=381）



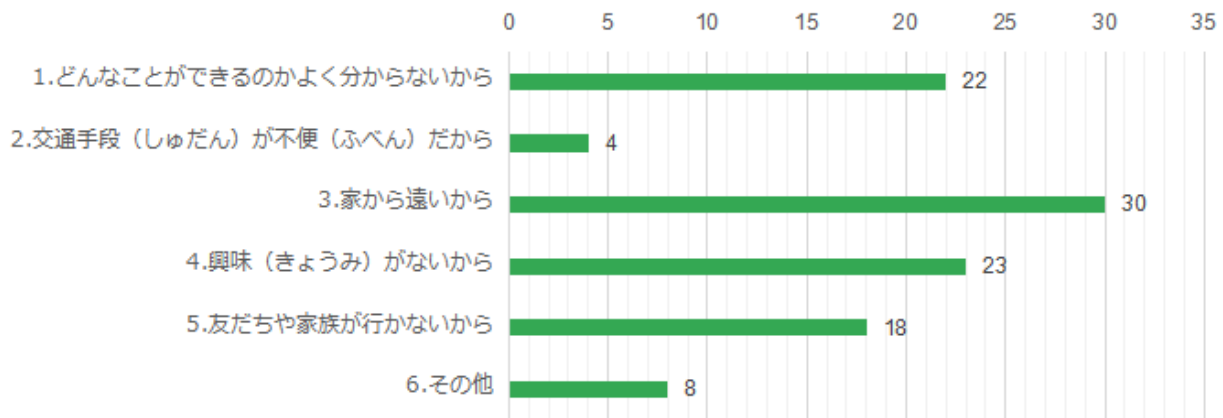
年次別パーセント



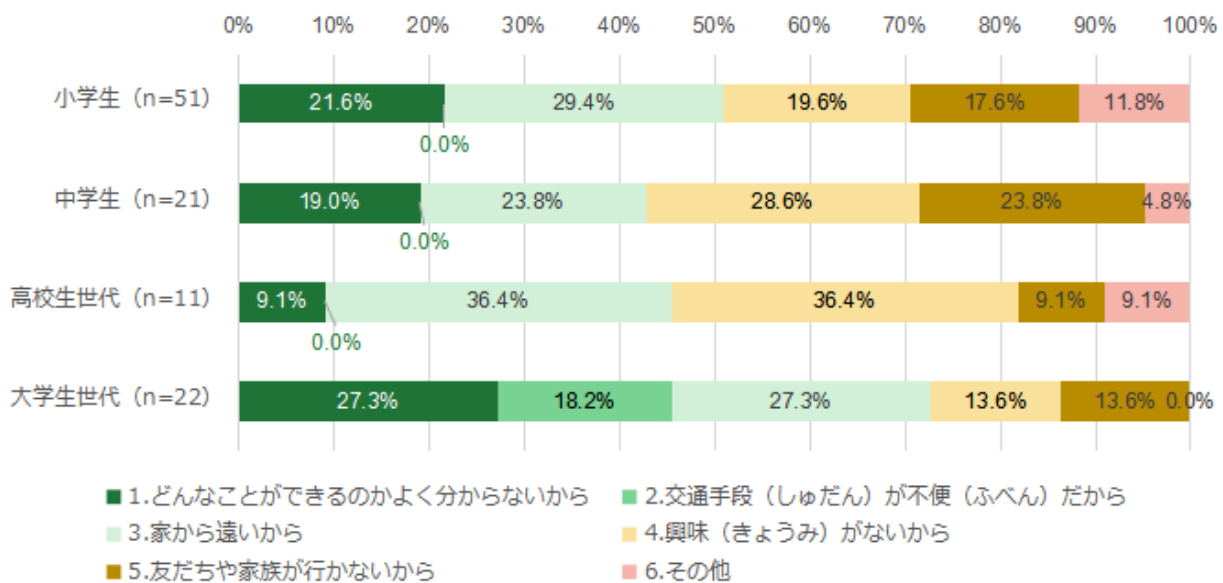
【質問③で「8.行ったことがない」を選んだ人だけが回答】
赤城山あかぎやまに行ったことがない理由は何ですか？ ※いくつでも選べますえら

- あかぎやま

全体総数 (n=105)



年次別パーセント



【自然とのふれあい】

質問5

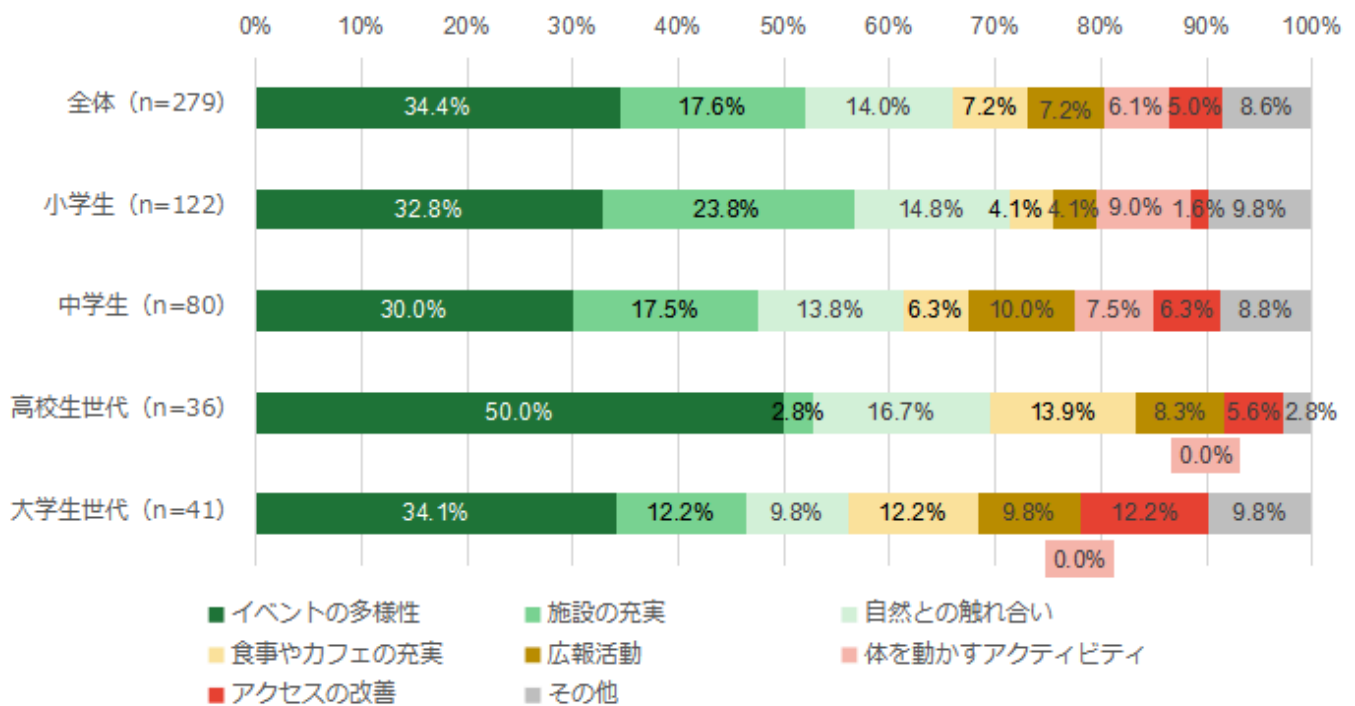
あなたや家族、友だちが、もっと赤城山に行ってみたい！と思うには、
どう変わったらよいと思いますか？

こんな場所があったらいいな、こんなイベントがあったら行くかな、
こんな体験をやってみたいなと思うことを自由に書いてください。

300字以内

- ・ 全体では「イベントの多様性」に関するコメントが多く、高校生世代では50%でした
- ・ 小学生・中学生では「体を動かすアクティビティ」へのコメントが見られました
- ・ 他の世代と比べ、高校生世代・大学生世代では「食事やカフェの充実」へのコメントが多かったです
- ・ 他の世代と比べ、大学生世代では「アクセスの改善」へのコメントが多かったです

年次別パーセント



※具体的なコメント（抜粋）は次のページ

【自然とのふれあい】

質問5

あなたや家族、友だちが、もっと赤城山に行ってみたい！と思うには、どう変わったらよいと思いますか？

こんな場所があったらいいな、こんなイベントがあったら行くかな、こんな体験をやってみたいなと思うことを自由に書いてください。

300字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

イベントの多様性

- ・お祭りのイベントがあったら行きたい（小学生）
- ・好きなキャラクターがコラボしているイベントがあったら嬉しい（小学生）
- ・赤城山に関するクイズラリーや謎解きイベント（中学生）
- ・赤城山をめぐるゲームやスタンプラリー（中学生）
- ・赤城山での家族でのキャンプや、赤城山での宝探しなど家族や友だちなどで参加できるイベントがあったら良いと思います（高校生世代）
- ・大人向けの謎解きや宝探し、ツチノコを探索！などを山の地形などのイベントをいかして開催したらおもしろいと思います！（高校生世代）
- ・お祭りや花火大会が開催されれば行く（高校生世代）
- ・赤城山と聞くとハードルが高くなかなか「行こう！」と思わないので、初心者でも楽しめるイベントや体験（例：手ぶらBBQ、初級登山教室）があれば行くと思います（大学生世代）
- ・「チルタイムしよう」みたいな企画で、みんなで湖を見ながら、のんびりする会や珈琲を飲む会などのイベントを開く（大学生世代）

施設の充実

- ・アスレチックとかジップラインとか上野村にあるツリーアドベンチャーなど自然を活かした遊具（小学生）
- ・遊ぶ場所がもっと増えるといい。水上の道の駅の様に、自然の中で水遊びとか、自然と触れ合える遊びができる場所があるといいと思います（小学生）
- ・遊園地やホテルがあるリゾート（中学生）
- ・キャンプ施設や、温泉（健康ランド）などといったスポットを作る（中学生）
- ・山カフェwithサウナ的な道の駅を設置し、整える若者向け流行りスポット（高校生世代）
- ・バンジージャンプ、遊園地みたいな遊べるとこ、全部貸し出してくれるBBQ、プラネタリウム、体が不自由な人でも行ける場所を増やす（大学生世代）

自然との触れ合い

- ・自然を使った公園などがあれば良いと思います、自然体験会などの体験をやりたいです（小学生）
- ・川で、カヌーなどを体験してみたい（小学生）
- ・自然の中だからこそできることをやってみたい（中学生）
- ・自然と融合したアスレックスや自然を活用したカフェなどを作ればより人も集まると思う（中学生）
- ・山の自然に触れて、キャンプ・滝などでマイナスイオンを浴びデジタルデトックスをする若者向けの企画（高校生世代）
- ・夕方から夜にかけてのイベント。星空観察や、キャンプファイヤー（高校生世代）
- ・自然を楽しみながらリラックスできるカフェやレストラン
- ・赤城山は自然も豊かでリトリートの聖地だと思うので、観光客の人も地元の人呼び込めるようなキャンプ（グランピング）施設があるといいと思います（大学生世代）

食事やカフェの充実

- ・赤城山で美味しい食べ物（お蕎麦や、うどんや、お団子）や少しオシャレなベーカリーやカフェがあったらいいかなと思います（小学生）
- ・おしゃれなカフェとかあったら登ったついでに素敵なティータイムが楽しめると思う（中学生）
- ・食べ歩き映える食べ物とかあったらいいと思います（高校生世代）
- ・おしゃれなカフェがあると良い（大学生世代）

↓つづく

【自然とのふれあい】

質問5

あなたや家族、友だちが、もっと赤城山に行ってみたい！と思うには、どう変わったらよいと思いますか？

こんな場所があったらいいな、こんなイベントがあったら行くかな、こんな体験をやってみたいなと思うことを自由に書いてください。

300字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

広報活動

- どんなイベントがあるか分からないからもっと分かるようにしてほしい（小学生）
- キャンプなどの案内を、Xやインスタ、公式ラインなどで行えば興味を持った人が来てくれると思う（中学生）
- 赤城山付近の商業施設がわかりやすい面白いマップやポスターなどの掲示（中学生）
- どんなイベントや施設があって何ができるのかのお知らせがあるとより人が集まると思います（高校生世代）
- 場所やイベントを変えていくのではなく広報の仕方や教育から変えていくべきだと思う（大学生世代）
- 赤城山でどんなことができるか知らないから、わかるように広告を出したり口コミになるようなイベントをする（大学生世代）

体を動かすアクティビティ

- アスレチックとかをしてみたい（小学生）
- スポーツ大会（小学生）
- 登山体験（小学生）
- 湖でのカヌーやSUP体験（中学生）
- 木登り（ツリーイング）（中学生）
- スキー大会や、スノーボード大会（中学生）

アクセスの改善

- 行くときに車でいくと時間がかかったので交通網を整備した方がいい（環境を破壊しないように）すること（小学生）
- 赤城山直行の無料シャトルバスをだす（中学生）
- 高校生だけでも行けるように前橋駅から赤城山までのバスをもっと利用しやすくするなど交通の便を良くすること（高校生世代）
- 山へのアクセスが悪いため、改善が必要だと思います。バスは本数が少ないし運賃も高いです。車で行くとしても、夕方の赤城県道は毎週末渋滞しています（大学生世代）

その他

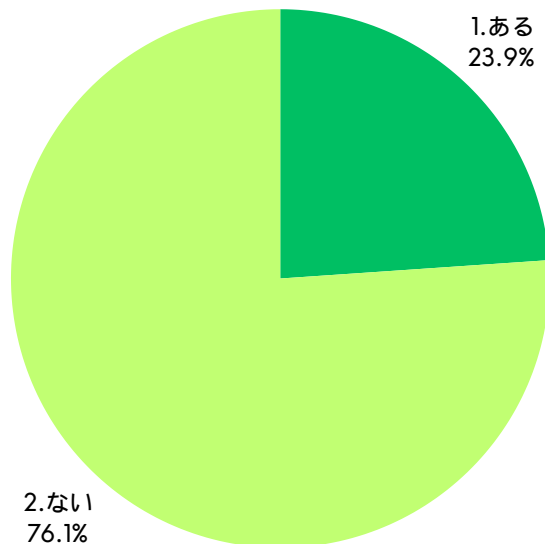
- 山に登ったら何かもらえるとうれしい（小学生）
- みんなで学校で勉強する（小学生）
- かわいいフォトスポットや食べ物があったら行きたいと思う（中学生）
- 虫がいないなら（中学生）
- インスタ映え（大学生世代）
- 虫が苦手なので少なければ行きたいと思います（大学生世代）

質問6 「尾瀬」に行ったことはありますか？

- 尾瀬に行ったことがある人は全体の23.9%でした
- 世代別には、年齢が大きくなるほど行ったことがある人が多くなりました
- 大学生世代が一番多く、45.7%の人が行ったことがあるという回答でした

全体

1.ある
23.9% (n=230)



年次別

小学生
(n=108)

1.ある 14.8%
2.ない 85.2%

中学生
(n=61)

1.ある 26.2%
2.ない 73.8%

高校生世代
(n=26)

1.ある 26.9%
2.ない 73.1%

大学生世代
(n=35)

1.ある 45.7%
2.ない 54.3%

100字以内

- (n=197)

[illegible]

- ミズバショウ、二ホンヤマメ、イタチ等しぜんゆたがある自然豊かな場所（小学生）
- 教科書でみたら、とても自然がきれいで珍しい生き物もいる場所（小学生）
- 尾瀬おぜといえば、尾瀬国立公園だおぜな、と思います（小学生）
- 尾瀬おぜにしか咲さいていない花があると聞いたことがあります（中学生）
- 水芭蕉みずばしょうや、石楠花しゃくなげなどの美しい植物、熊くまや、オコジョおこしょうなど、特徴おぜてきな動物、尾瀬を歩くことでの人との交流（中学生）
- 学校の同好会で尾瀬に数回行きました！朝の霧きりに包つつまれている中、山の間から見える朝日あさひがとても綺麗で神秘的でした！比較ひかくてき的平坦へいたんな木道を歩いていても疲つかれるので、励はげまし合ったり、話しながら進むのが楽しかったです（高校生世代）
- 尾瀬おぜときくと、やはり音楽の教科書で誰たれもが習う『夏の思い出』の印象が強いです。水芭蕉みずばしょうが風かぜにそよぐ、おだやかな木道。昔、親おやと登った記憶きおくが思い出されます（高校生世代）
- 10円玉ほどの大きさのトンボを見たこと（高校生世代）
- 湿地しっち 足の裏うらこするやつ 木の道 トイレが有料ゆうりょう 雨あめだったことしか覚えてない（大学生世代）
- 水芭蕉みずばしょうがお化けのようになっていたことが思い出です、木道の行き違う方々が挨拶あいさつしてくださったのが嬉うれしかったです（大学生世代）
- 尾瀬国立公園といえば、沼地きれいがあって、綺麗な花さが咲いていて、遊歩道ゆうぽどうを散歩さんぽするイメージがあります（大学生世代）

質問8

童謡・唱歌の「夏の思い出」を知っていますか？
(歌い出し：♪夏が来れば 思い出す...)

- 全体で「1.歌ったことがある」「2.聞いたことがある」人は47.4%でした
- 年齢が大きくなるほど「1.歌ったことがある」「2.聞いたことがある」人の合計が増える傾向があり、一番多かったのは高校生世代の73.1%でした

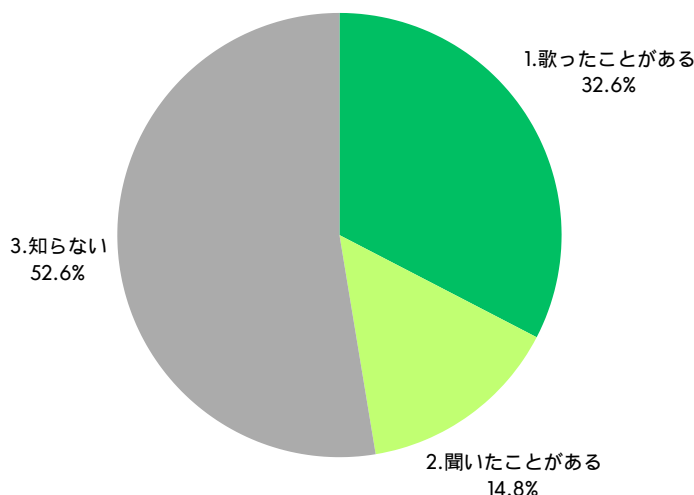
【回答項目】

- 1.歌ったことがある（授業（じゅぎょう）・合唱（がっしょう）コンクール・その他）
2.聞いたことがある（テレビ・ラジオ・インターネットなど）、3.知らない

全体の認知度

47.4% (n=230)

※「認知度」は「1.歌ったことがある」「2.聞いたことがある」の合計

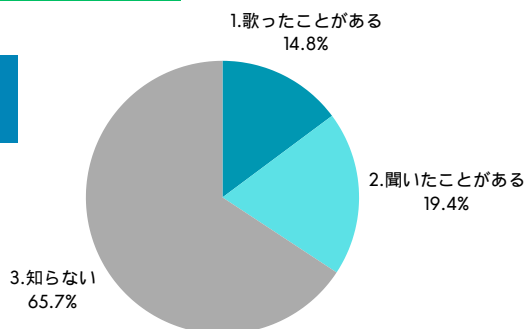


年次別認知度

小学生

(n=108)

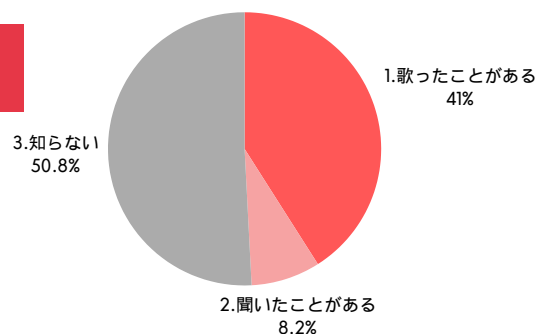
34.3%



中学生

(n=61)

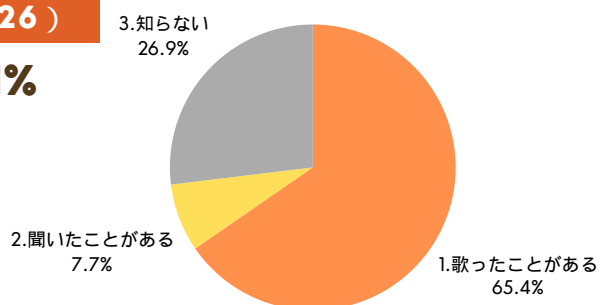
49.2%



高校生世代

(n=26)

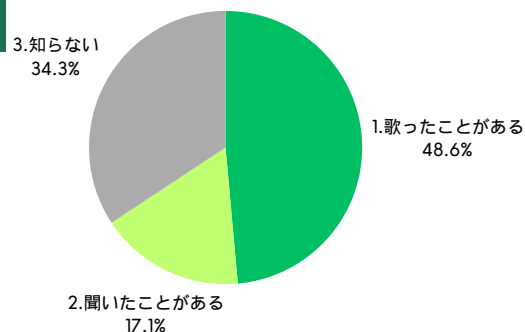
73.1%



大学生世代

(n=35)

65.7%



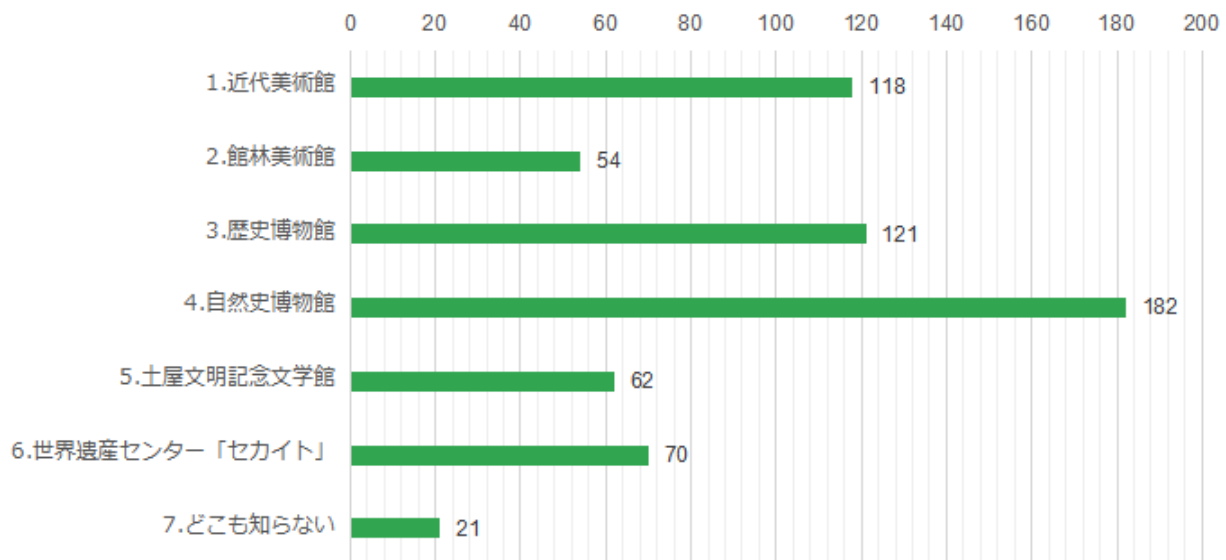
質問9 群馬県が運営している県立の美術館・博物館のうち、「知っている」ところをすべて選んでください。※いくつでも選べます

- ・ 全体では多い順に「4.自然史博物館」「3.歴史博物館」「1.近代美術館」となりました
- ・ 知っている施設の比率は、どの世代も似ていました
- ・ 小学生は他の世代と比べて「6.世界遺産センター（セカイト）」に行った人がやや多かったです
- ・ 中学生は他の世代と比べて「7.どこも知らない」と答えた人が少なかったです

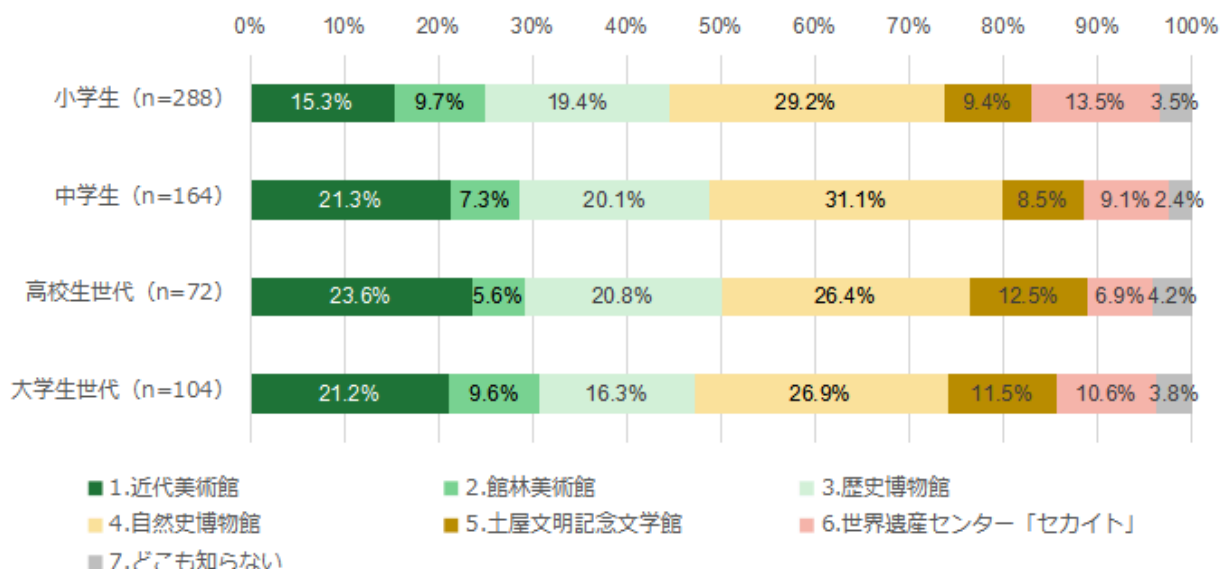
【回答項目】

1.近代美術館（きんだいびじゅつかん）、2.館林美術館（たてばやしびじゅつかん）、3.歴史博物館（れきしはくぶつかん）
4.自然史博物館（しぜんしはくぶつかん）、5.土屋文明記念文学館（つちやぶんめいきねんぶんがくかん）
6.世界遺産（いさん）センター「セカイト」、7.どこも知らない

全体総数（n=628）



年次別パーセント



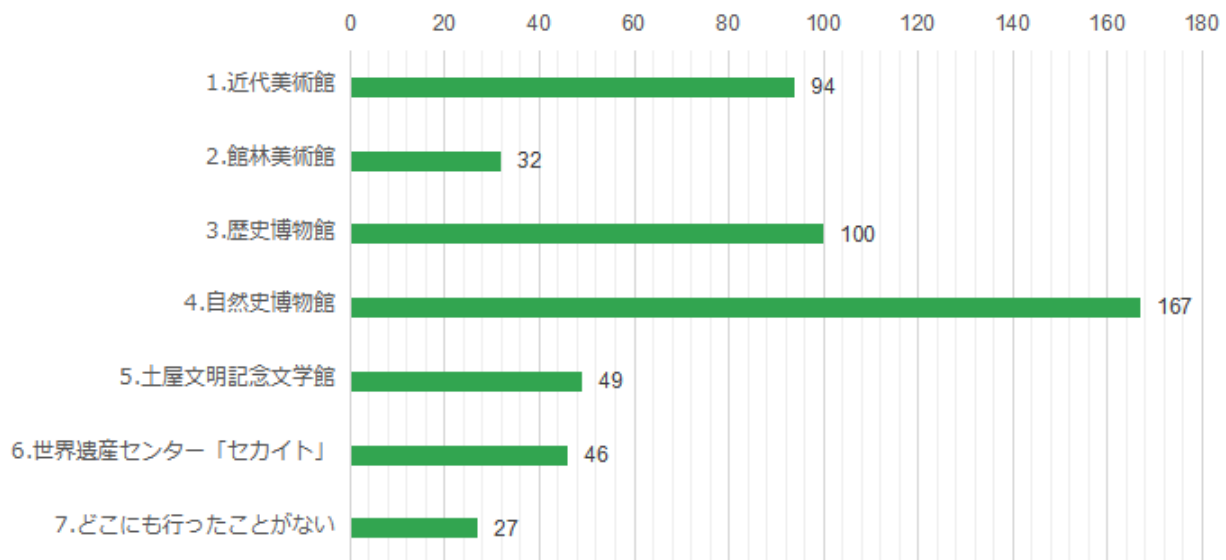
質問10 群馬県が運営している県立の美術館・博物館のうち、「行ったことがある」ところをすべて選んでください。 ※いくつでも選べます

- 全体では多い順に「4.自然史博物館」「3.歴史博物館」「1.近代美術館」となりました、これは前の質問の「知っている」施設と同じです
- その他の回答も、前の質問と似た結果になりましたが、高校生世代で「1.近代美術館」に行ったことがある人と、大学生世代で「4.自然史博物館」に行ったことがある人が増えました

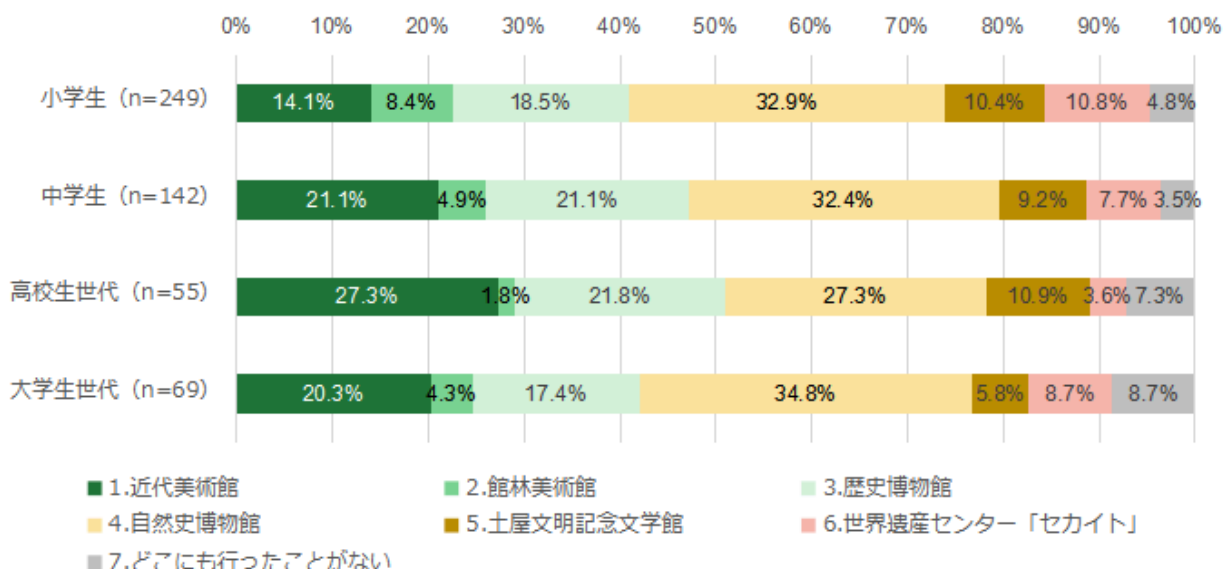
【回答項目】

- 1.近代美術館（きんだいびじゅつかん）、2.館林美術館（たてばやしびじゅつかん）、3.歴史博物館（れきしはくぶつかん）、4.自然史博物館（しぜんしはくぶつかん）、5.土屋文明記念文学館（つちやぶんめいきねんぶんがくかん）、6.世界遺産（いさん）センター「セカイト」、7.どこにも行ったことがない

全体総数（n=628）



年次別パーセント



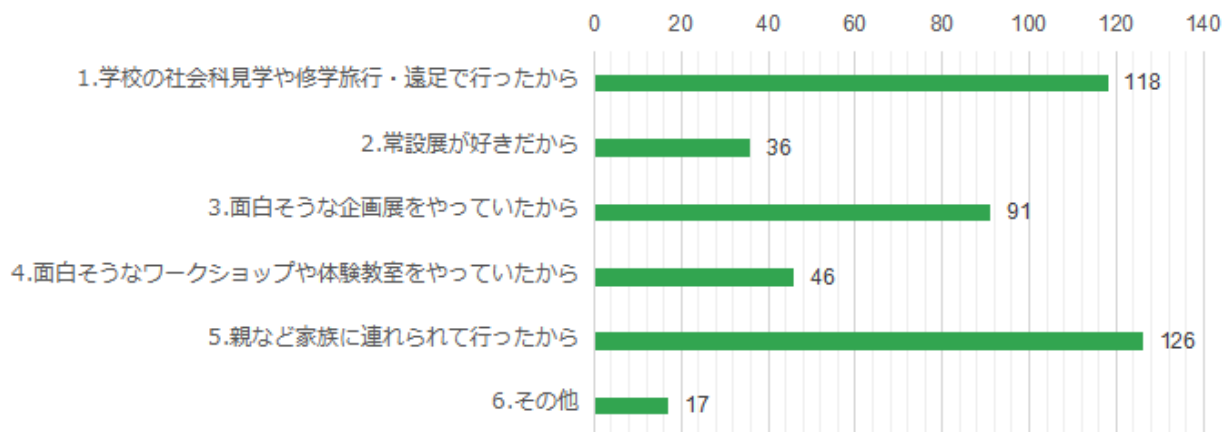
質問11 【質問10で1～6を選んだ人だけが回答】 県立の美術館・博物館に行った理由は何ですか？ ※いくつでも選べます

- ・ 全体では多い順に「5.家族に連れられて」「1.学校で行った」「3.面白そうな企画展をやっていた」
- ・ 小学生は「5.家族に連れられて」という理由が「1.学校で行った」よりも多かったです
- ・ 小学生～高校生世代は大学生世代に比べると「4.ワークショップや体験」が多かったです
- ・ 大学生世代は他の世代より「2.常設展」と「3.企画展」の合計が多かったです

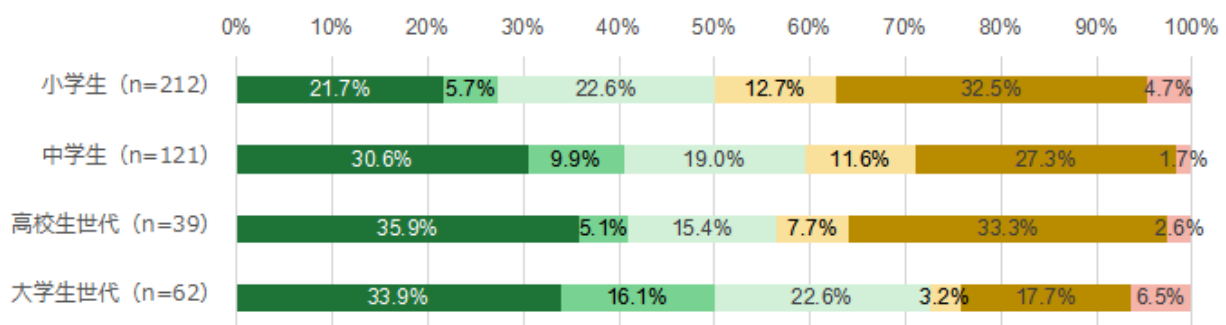
【回答項目】

- 1.学校の社会科見学や修学（しゅうがく）旅行・遠足で行ったから、2.常設展（じょうせつてん）が好きだから
3.面白そうな企画展（きかくてん）をやっていたから、4.面白そうなワークショップや体験（たいけん）教室をやっていたから
5.親など家族に連（つ）れられて行ったから、6.その他

全体総数（n=434）



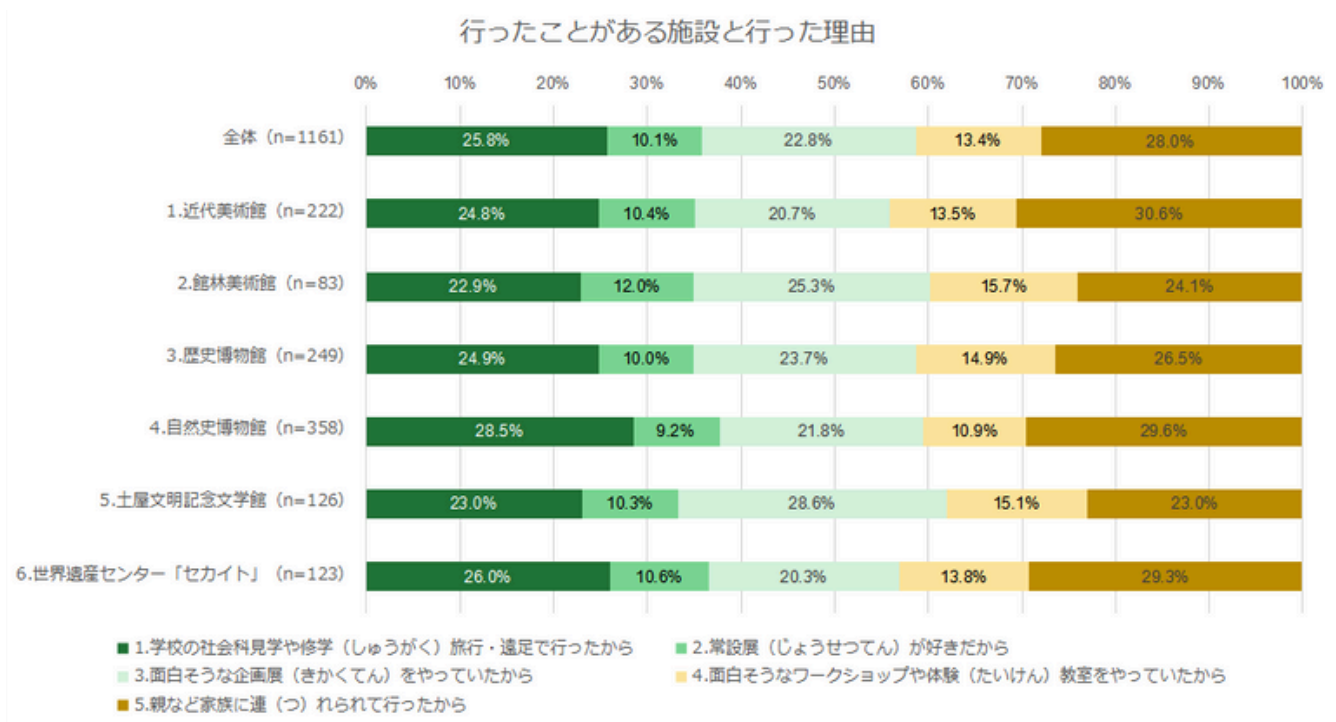
年次別パーセント



- 1.学校の社会科見学や修学（しゅうがく）旅行・遠足で行ったから
- 2.常設展（じょうせつてん）が好きだから
- 3.面白そうな企画展（きかくてん）をやっていたから
- 4.面白そうなワークショップや体験（たいけん）教室をやっていたから
- 5.親など家族に連（つ）れられて行ったから
- 6.その他 ※上記「その他回答」からカウント

質問11 質問10で「行ったことがある」施設を選んだ人の理由 ※クロス集計 (n=1,161)

- 学校で行った施設は多い順に「4.自然史博物館」「6.世界遺産センター(セカイト)」「3.歴史博物館」でした
- 家族に連れられて行った施設は多い順に「1.近代美術館」「4.自然史博物館」「6.世界遺産センター(セカイト)」でした
- 「2.館林美術館」や「5.土屋文明記念館」に行ったことがある理由としては、展示内容やワークショップなどが多かったです

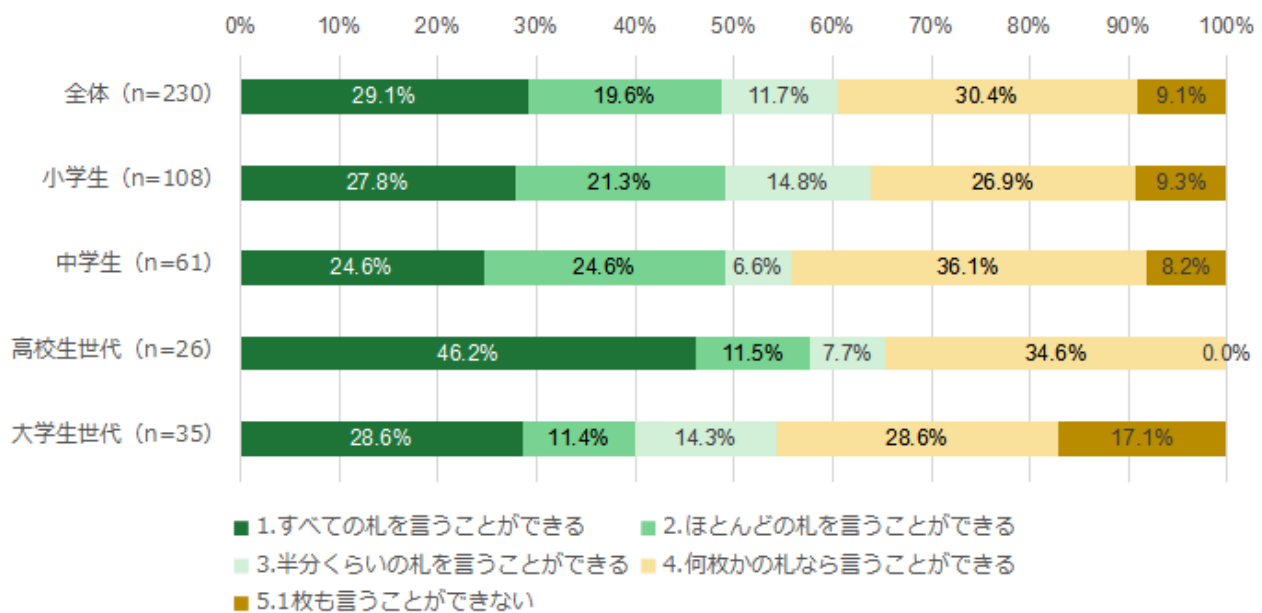


質問12 上毛かるたを暗記して、何も見ずに言うことができますか？

- ・ 全体では90%以上の人が上毛かるたを何も見ずに言うことができることが分かりました
- ・ 小中学生では約半分の人が、全ての札またはほとんど言うことができることが分かりました
- ・ 高校生世代は45%以上の人が全ての札を言え、ほとんど言うことができる人を合わせると約60%になりました
- ・ 大学生世代では、上毛かるたを言える人が他世代より少ないです。これは、他県出身で群馬県の学校に通うモニターさんが関係する可能性があります

※ 回答1～4の合計（5. 1枚も言うことができない人以外）の数値です

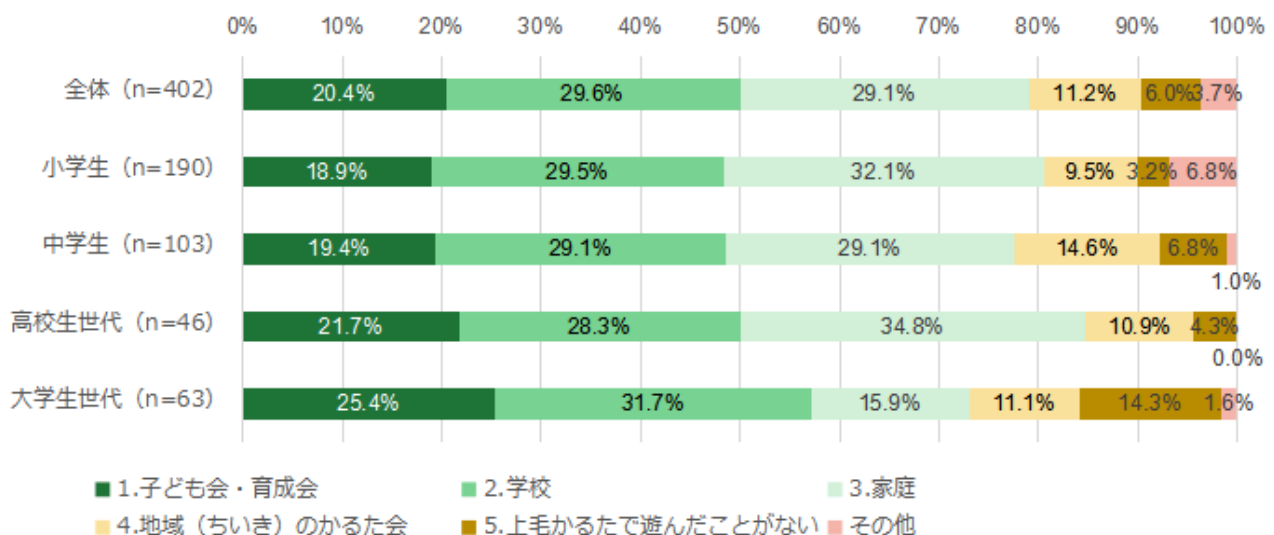
年次別パーセント



質問13 上毛かるたをどこで遊んでいますか？（いましたか？） 当てはまるものを全て選んでください。 ※いくつでも選べます

- 全体では「2.学校」と「3.家庭」が29%以上、その次が「1.子ども会・育成会」で20.4%でした
- 前の質問で上毛かるたを暗記している人が多かった高校生世代では「3.家庭」「2.学校」が多く、大学生世代では「2.学校」「1.子ども会・育成会」が多かったです
- 年齢が大きくなるほど「1.子ども会・育成会」で遊んでいる・いた人が多くなりました

年次別パーセント



「その他」に含まれた答えと回答数
児童館・学童：7 保育園・幼稚園：6 友人：1 やったことがない：1

質問14

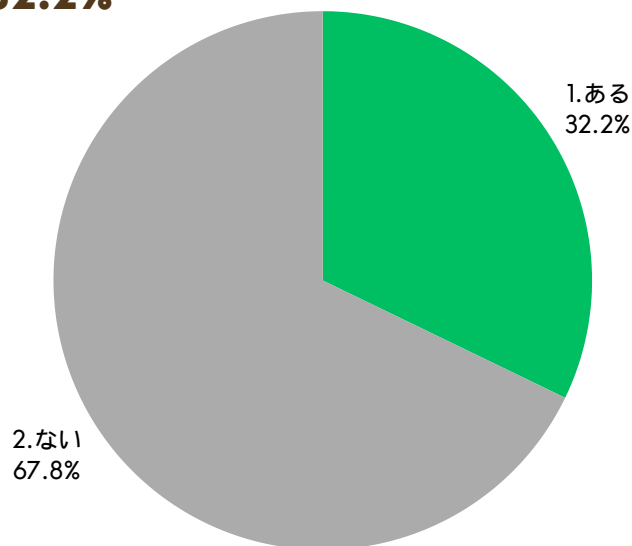
上毛かるたの大会※に出たことはありますか？

※ イベント等ではなく、地域のこども会ごとの地区大会→^{ちいき}都市大会→^{ぐん}県大会へとつながる大会のこと

- 全体では、大会に出たことのある人は32.2%でした
- 世代別では、大会に出たことがある人が多いのは、^{べつ}高校生世代と^{いじょう}大学生世代で40%以上でした
- 世代別で一番多かったのは高校生世代で、42.3%でした

全体の結果 (n=230)

1.ある 32.2%



年次別の結果

小学生
(n=108)

1.ある 25.9%
2.ない 74.1%

中学生
(n=61)

1.ある 34.4%
2.ない 65.6%

高校生世代
(n=26)

1.ある 42.3%
2.ない 57.7%

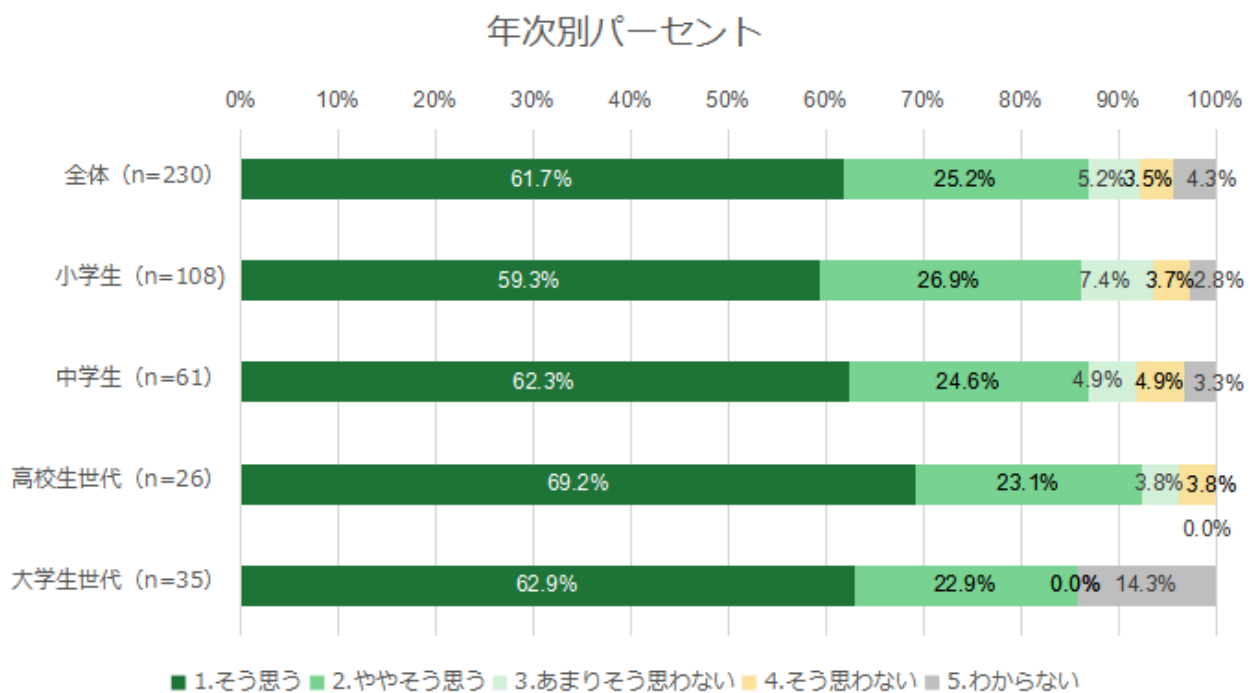
大学生世代
(n=35)

1.ある 40.0%
2.ない 60.0%

質問15 上毛かるたは群馬県にとって大事なもの（宝）だと思いますか？

※いくつでも選べます

- 全体では86.9%の人が上毛かるたを、県民にとって宝だと思うと回答しました（「1.そう思う」「2.ややそう思う」の合計）
- 全ての世代で、半分以上の人が「1.そう思う」と回答しました
- 特に高校生世代が一番多く「1.そう思う」が69.2%、「2.ややそう思う」が23.1%でした



げいじゅつ

100字以内

- ぐたいてき

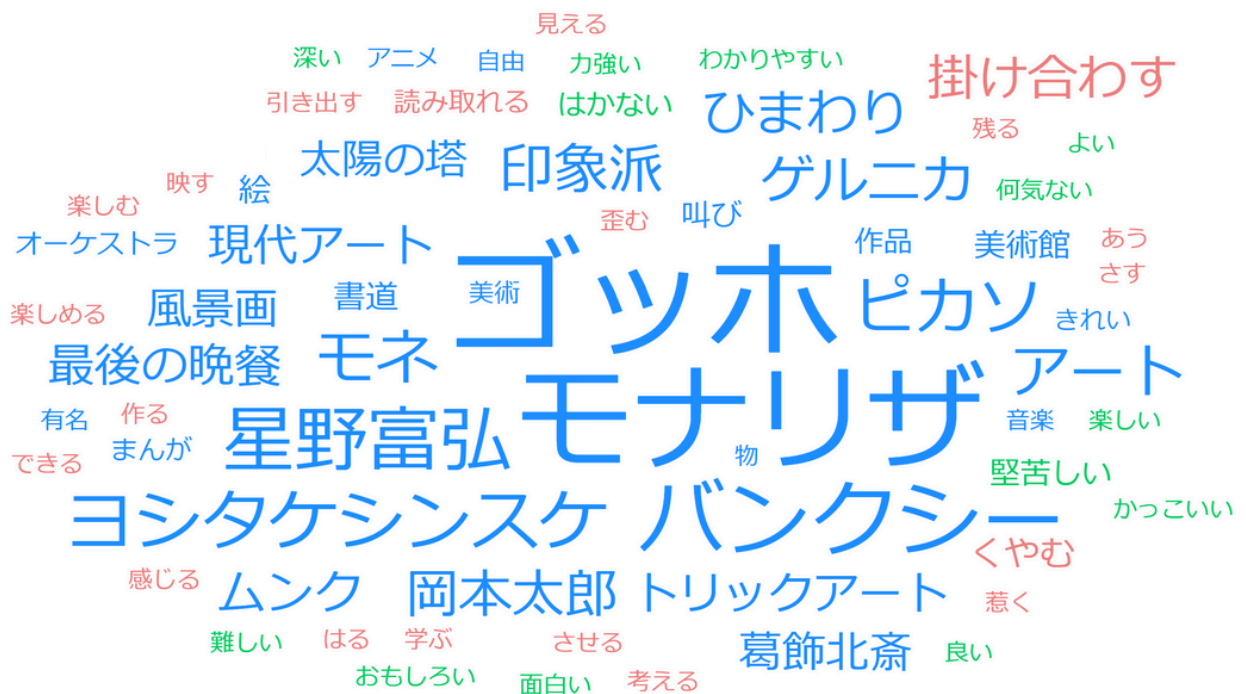


※ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析

質問17 これはいいな！と思うアートはどのようなものですか？

※作品の名前・つくっている人の名前、場所や分野（ジャンル）でも何でもよいです。 100字以内

- ・ 歴史的に有名な「ゴッホ」「ピカソ」「葛飾北斎」のほか、「バンクシー」や「ヨシタケシンスケ」「岡本太郎」といった現代の作者、群馬の詩人で画家の「星野富弘」の名前もあがりました
- ・ 「モナリザ」や「ひまわり」といった有名な絵の名前もたくさん出ました
- ・ アートを「音楽」や「詩」「書道」「アニメ」など広いジャンルでとらえたり、体験したり、感じたりすることに前向きなコメントがたくさんありました



※ユーザーローカル テキストマイニングツール（<https://textmining.userlocal.jp/>）による分析

質問17 これはいいな！と思うアートはどのようなものですか？

※作品の名前・つくっている人の名前、場所や分野（ジャンル）でも何でもよいです。

100字以内

「ChatSense | ビジネス向け ChatGPT」を活用して、
このアートに関する自由記述の回答を分析し、主なテーマや傾向をまとめました。

1. 主なアートスタイルと作家

著名な作品・画家

- ・ モナリザ: たくさんあげられており、特に人気のある作品
- ・ ゴッホ: ひまわりや自画像が多くあげられている
- ・ ムンクの叫び: 強い印象を持つ作品としてあげられている
- ・ 葛飾北斎: 富嶽三十六景など
- ・ ピカソ: ゲルニカやその他の作品
- ・ ヨシタケシンスケ: 絵本が評価

アートスタイルの例

- ・ 浮世絵: 色彩や印象が重要視されている
- ・ 印象派: 特に人気があり、感情的な共鳴が見られる
- ・ 現代アート、体験型アート: 参加型のアートに対する関心が示されている

2. 感情と体験

ポジティブな感情

- ・ 楽しさやワクワク感: 「楽しそうな絵」や「体験できる現代美術」があげられ、多くの回答にポジティブな感情が見られる
- ・ 感動的な体験: 著名な作品を実際に見ることに感動したという意見

ネガティブまたは中立的な感情

- ・ 「わからない」や「特になし」: アートに対する理解が難しいという意見も多く、特に抽象的なものに対して困惑する声がありました

3. アートの評価基準

個人的な好み: 「自分の好きなものが作品になっている」といった主観的な評価が多く見られ、各人の個性や好みが多く反映されています

体験と感覚: 「五感を使って感じるができるアート」「参加できるアート」といった体験が重視される傾向があります

4. 多様性とジャンル

ジャンルの多様性: 絵画、漫画、アニメ、現代アート、書道などさまざまなジャンルがあげられています。

文化と趣味の融合: 音楽や演劇との関連性を持ったアート（音楽アート、ミュージカル）についての意見や感想も見られ、アートがいろいろな形式で楽しめることが強調されています

5. 地域や特定の展示

特定の美術館や展示: 宇都宮美術館や高崎美術館、自然史博物館など、具体的な展示の名前も多くあげられ、地域密着型の文化やアート体験が重視されています

結論

この分析から、アートに対する回答者の多様な好みや感情、そして具体的な作品や作家への強い関心が浮き上がります。加えて、アートをただ見るのではなく、実際に体験し、参加することに対する期待も大きいことが示されています。

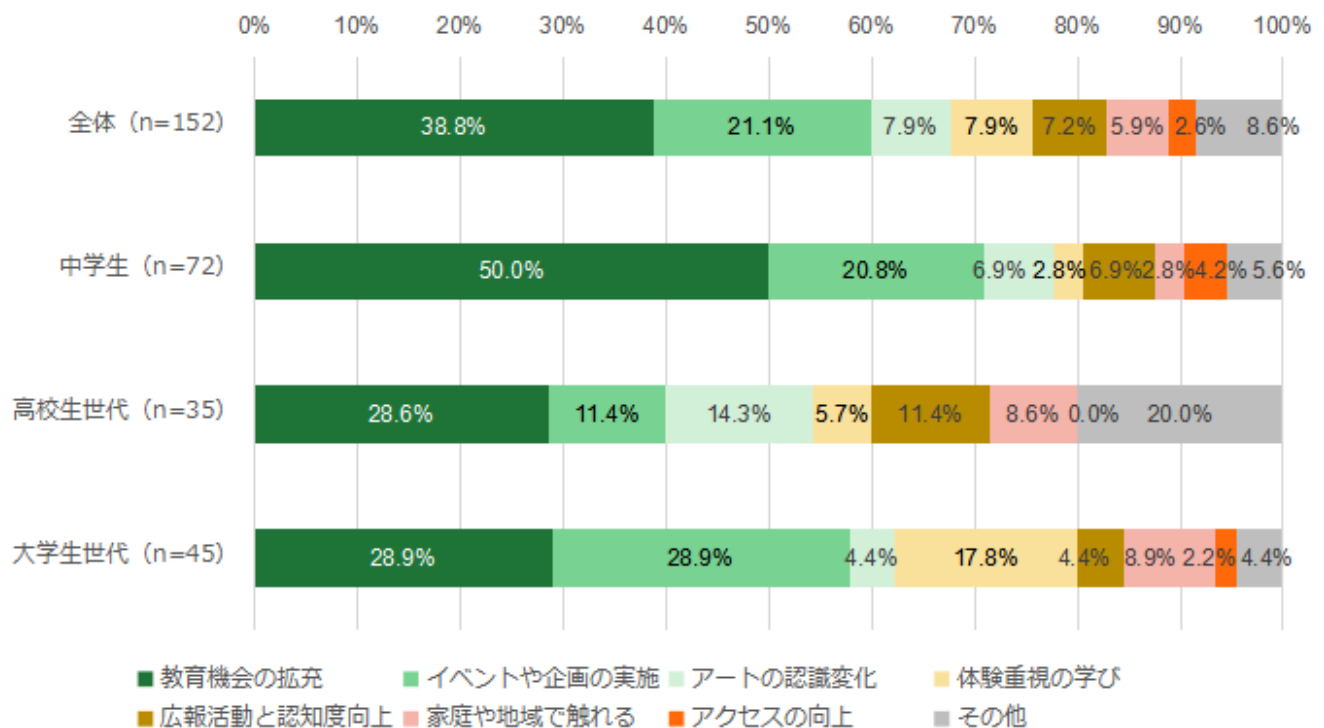
【中学生以上の人だけが回答】

質問18 こどもたちが「アート」に触れる機会を増やすには、どのようなことが必要だと思いますか？

300字以内

- ・ 全体では、学校など教育の場で、アートに触れる機会を増やしたり楽しさを教えるなどの「教育機会の拡充」に関することが多くあげられ、中学生では半数の50%がコメントしました
- ・ 中学生で次に多かったのは「イベントや企画の実施」「アートの認識変化」でした
- ・ 高校生世代は多い順に「教育機会の拡充」「アートの認識変化」で「イベントや企画の実施」と並んで「広報活動と認知度向上」のコメントも多かったです
- ・ 大学生世代は「教育機会の拡充」と「イベントや企画の実施」が同じくらい多く、次に「体験重視の学び」が多くなりました、体験を重視するコメントは大学生世代が一番多かったです

年次別パーセント



※具体的なコメント（抜粋）は次のページ

【中学生以上の人だけが回答】

質問18 こどもたちが「アート」に触れる機会を増やすには、どのようなことが必要だと思いますか？

300字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

教育機会の拡充

- 学校で美術の授業以外にアートに触れる様にする（中学生）
- 学校で美術館に行く機会を作る（中学生）
- 修学旅行や課外活動などで美術館、個展などに行ったりすることや、図工などの時間で制作するものをより自由にする必要があると思います（高校学生世代）
- 教育現場での接点を増やす。アートの楽しさを教える（大学生世代）
- 前橋市では、群馬交響楽団の演奏を聴いたり、ミュージカルを見に行ったり、児童生徒音楽会で歌ったりする「音楽」の機会があります。しかしながら「美術」の機会は多くないため、美術館へ社会科見学に行ってみたり、特徴的なアート(藍染や大きな紙に書くようなアート)を取り入れてみるのが良いと思います(大学生世代)

イベントや企画の実施

- 定期的にイベント開催、こどもに興味を持ってもらえるようなゲームも開催した方がい。特典があったりだとか、実際にアーティストと話せるだとかそのような機会を設けることがすごく重要だと思います（中学生）
- アニメのとかコラボした作品を展示するといったと思う（中学生）
- 親子で無料招待や、親子で一緒にアートに触れてみようみたいな企画を、身近な施設でやる（高校生世代）
- アーティストなど作家の話を直接聞いたり、対話をするような機会を設けて、作品や展示に多角的に向き合う視点を培う。また、アーティストだけでなく、美術館学芸員や、研究者、芸術祭関係者など、美術への携わり方が異なる人々と対話する機会を設ける。
- 公立の博物館・美術館において、親子連れも来館しやすい日などを設ける。（例：国立西洋美術館「にぎやかサタデー」、サントリー美術館「まるごといちにち こどもびじゅつかん!」）（大学生世代）

アートの認識変化

- 「アート」と言う言葉を、もっと身近なものにする。
- 絵画などのよくわからない「美」ではなく、単純に「すごい」、「きれい」と思うようなものから触れさせる（中学生）
- アートをもっと身近なものだと思ってもらう必要がある（高校生世代）
- 「アート」の幅を増やす機会があればいいと思います。群馬県は移動音楽教室や遠足など、身近に芸術を楽しむ環境が整いすぎていると思います。一方でそれらは行事の一環としてだったり、「音楽」としてだったり、そのような認識がこどもにはあると思い、アートという枠組みで捉えることは難しいように思います（実際私も小学生の頃、群響の移動音楽教室はイベントとして楽しんでいました）。なので、アートそのものの定義について考えられる場があれば、芸術鑑賞を目的とした行事で、こどもたちも目的そのものを捉えやすくなると思います（高校生世代）
- そもそも何がアートなのか教わったことがないし、正確には決められていないと思う。その自由さを教えたなら良いのではないかな。また、美術の授業を暗記科目や技術評価のみの科目にすべきではない（大学生世代）

【中学生以上の人だけが回答】

質問18

こどもたちが「アート」に触れる機会を増やすには、どのようなことが必要だと思いますか？

300字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

たいけんじゅうし

体験重視の学び

- 気軽に触れられる体験の場を増やす（中学生）
- 体験ができる美術館や展示会でアートの楽しさを感じてもらう。また、時間を気にせずものづくりに没頭する感覚を経験できたらいいと思う（高校生世代）
- 美術館に足を運びやすくなるような、こども向けの企画展があると良いと思います。例えばアニメや漫画とコラボした企画展や、こどもが実際に創作をする体験ができるブースが欲しいです（大学生世代）

こうほうかつどう にんち どうじょう

広報活動と認知度向上

- 有名なユーチューバーが来て一緒にアートに触れる（中学生）
- チラシなどで積極的に宣伝をする（中学生）
- X（旧ツイッター）やInstagram、ユーチューブなど、こども達が多く使用し目にする場所で行うことが重要だと思う。そうすることで、snsで美術館や写真館など、アートのある場所について、実際にどんなものがあるか知れて、興味が出ると思う（高校生世代）
- 美術館や博物館にある作品をデジタル化し、インターネット上に公開すると、子どもたちの目にも入りやすくなり、興味を持つきっかけになると思います（大学生世代）

家庭や地域で触れる

- 商店街や県庁周辺のように彫刻や絵を色々な場所に装飾として展示すればこれなんだろうと少しでも興味を持ってくれるこどもがいると思う（中学生）
- 親子で無料招待や、親子で一緒にアートに触れてみようみたいな企画を、身近な施設でやる（高校生世代）
- こどもたちがよく遊んでいる公園などに、アート作品を数個設置し、自分が遊んでいるものもアートなのだと感じさせる。そうする事により、自分とアートが身近なものに感じられ、興味を持ちやすくなると考えます（大学生世代）
- まずは家族で行ったり学校で見学に行ったりなどまずは生で見えてみるということが大切だと思います。生で見えていいと感じればそこからどんどんアートに触れる機会は増えていくと思います（大学生世代）

アクセスの向上

- 車で行くようなところでなく、駅周辺も美術館などをつくり誰もが行きやすいようにする（中学生）
- 行きやすい価格と距離で家族が行きやすいようにする（大学生世代）

その他

- 入場料を無料にする（中学生）※無料にする案はたくさんの世代から出ました
- 気軽に説明してくれる人が身近にいたらいい（高校生世代）
- 企画展のこどもの入場料をぐぐっと下げ、企画展の入場券を買った人は常設展も見られるようにする。1枚につき保護者1名無料などにすると、連れてくる側も負担が軽くていいと思う。ダンスやコンサート、演劇は、静かに見ていられないこどもを境界なく母子室に入れるところからでないと迷惑がかかる（大学生世代）

【中学生以上の人だけが回答】

質問18 こどもたちが「アート」に触れる機会を増やすには、どのようなことが必要だと思いますか？

300字以内

「ChatSense | ビジネス向け ChatGPT」を活用して、
このアートに関する自由記述の回答を分析し、主なテーマや傾向をまとめました。

1. 美術館へのアクセスの向上

- ・ **ひんぱんな訪問:** 学校行事や社会科見学として美術館を訪れる機会を増やす提案が多数見られました。これにより、自然な形でアートに触れることが促進されます。
- ・ **交通の便:** 駅近くに美術館を設置するなど、行きやすい環境を整える意見もありました。こどもたちが訪れやすくするための工夫が強調されています。

2. 教育カリキュラムの改革

- ・ **体験型授業:** 美術の授業に実際のアート体験を取り入れ、こどもたちが自分で作品を作る機会を提供すること（例：ワークショップや制作時間の増加）が提案されています。
- ・ **アートに対する理解を深める:** アートについての説明やワークショップを通じて、こどもたちが何を感じているのかを話し合う場があると良いとの意見もありました。

3. 身近なアート体験の提供

- ・ **パブリックアート:** 公共の場にアート作品を設置し、日常生活の中でアートに触れる機会を増やすことが提案されました。
- ・ **地域イベントの活用:** 商業施設や地域イベントでアート展示や体験ができる機会を設けることが大切だといった声もあります。

4. 親と学校の連携

- ・ **家庭との連携:** 家族で美術館を訪れる機会を持たせること、また親子で参加できるイベントを提供することで、こどもたちのアートへの興味を育む提案が多数あげられています。
- ・ **交流の場の設置:** こどもや親と一緒にアートに触れる時間を確保することが、家族の絆を深めるだけでなく、アートへの理解も深めるとされています。

5. 宣伝と認知度の向上

- ・ **SNSやメディアの活用:** こどもたちがよく使うSNSプラットフォームを通じてアートのイベントや展示会を宣伝し、興味を持つきっかけを増やすことが提唱されています。
- ・ **パブリシティ:** 地域の作品やイベントを学校の授業や活動を通じて広めることも重要視されています。

6. アートのハードルを下げる

- ・ **気軽さと楽しさ:** アートは難しいものではなく、気軽に楽しめるものであるというメッセージを広めることが強調されています。自由な表現を促す授業やイベントの実施が求められています。
- ・ **実際に触れることの重要性:** アートに触れる機会を増やすことで、こどもたちが自然に興味を持ち、理解を深めることを目指す意見が多くあげられました。

結論

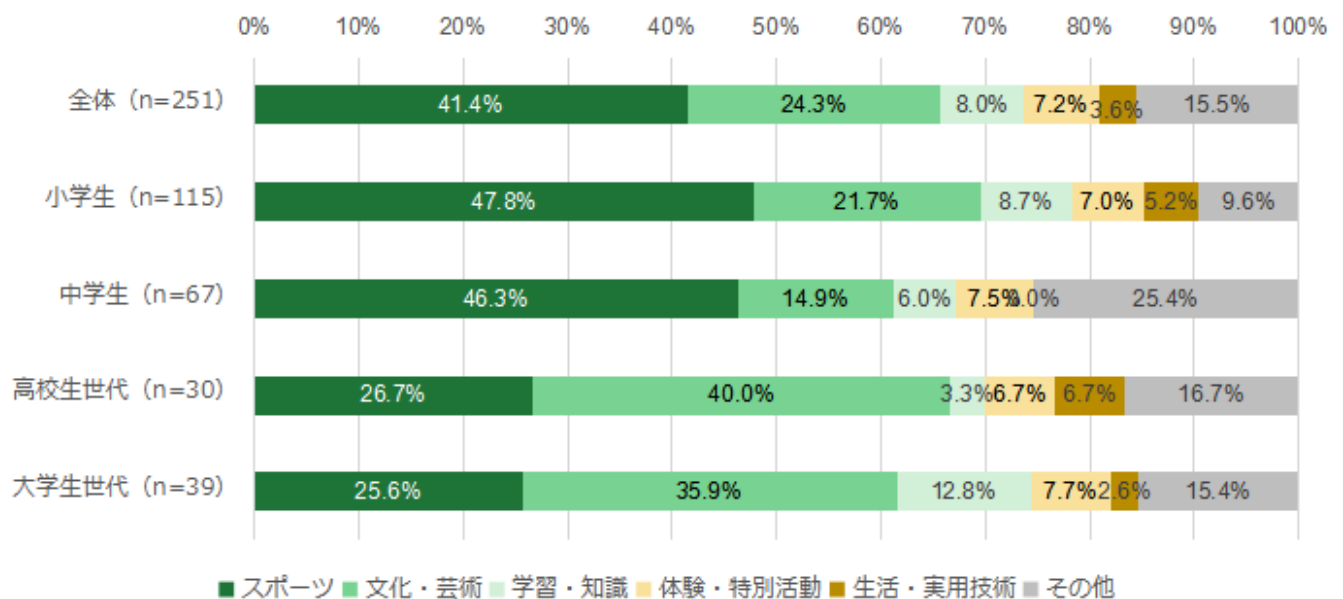
こどもたちにアートを身近に感じてもらうためには、教育課程の見直し、アクセスの向上、家庭との連携、地域社会での活動が不可欠です。そして、アートに対する認知度を高め、その楽しさを伝えることが重要であると多くの回答が示唆しています。

質問19 部活動や習いごとなどで、どのようなスポーツ、文化、学習の体験をしたいですか？（したかったですか？）自由に書いてください。 100字以内

- ・ 全体と小学生、中学生では多い順に「スポーツ」「文化・芸術」でした
- ・ 高校生世代と大学生世代では反対に「文化・芸術」「スポーツ」の順番に多かったです
- ・ 「スポーツ」では「ダンス」※や「バスケ」「テニス」「水泳（スイミング）」などが多かったです
- ・ 「文化・芸術」では「茶道」「習字（書道）」「絵」などの言葉が多かったです
- ・ 「学習・知識」には「プログラミング」や「英語」などがありました
- ・ 「体験・特別活動」には「農業体験」「プロの講習会」「ハニワづくり」「ボランティア」などがありました
- ・ 「生活・実用技術」には「料理」や「ボーイスカウト」などがありました

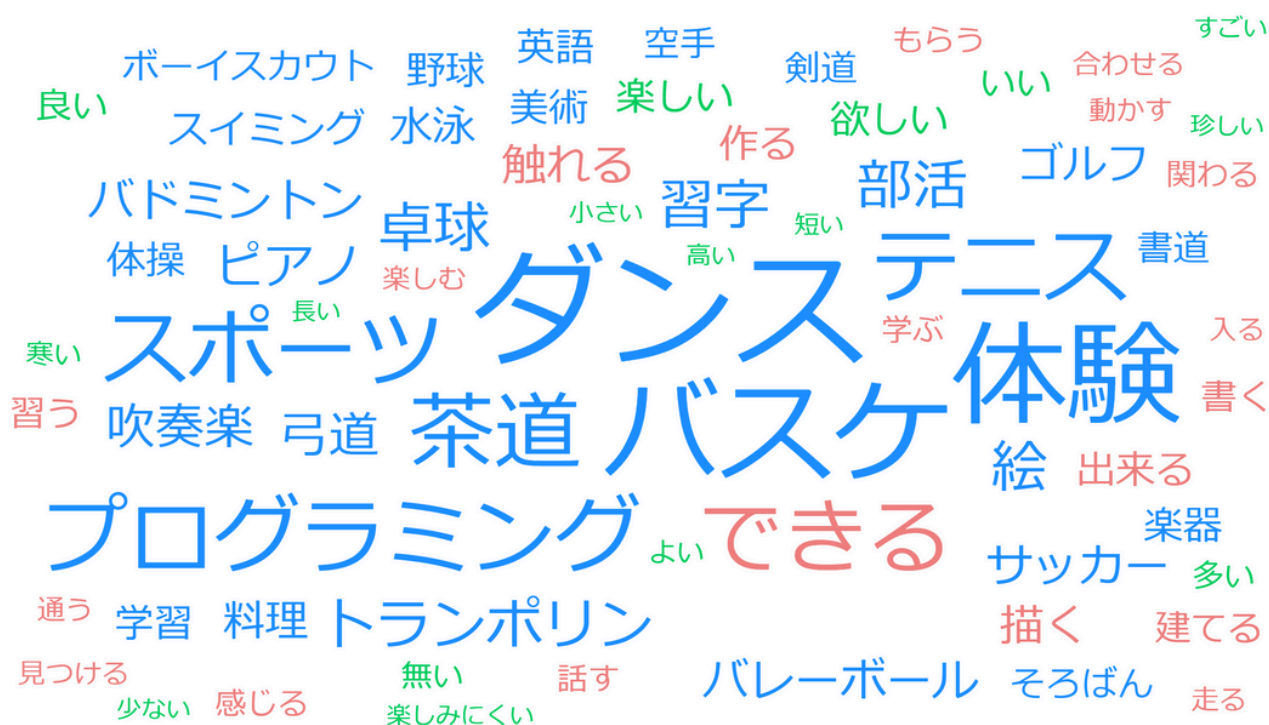
※今回、ダンスはスポーツに分類して数えました

年次別パーセント



質問19

部活動や習いごとなどで、どのようなスポーツ、文化、学習の体験をした
たいですか？（したかったですか？）自由に書いてください。 100字以内



品詞	単語	出現回数
名詞	ダンス	20
名詞	バスケ	18
名詞	体験	18
名詞	茶道	14
名詞	プログラミング	14
名詞	テニス	14
名詞	スポーツ	14
名詞	習字	10
名詞	トランポリン	10
名詞	卓球	10
名詞	部活	10
名詞	絵	10
名詞	弓道	9
名詞	吹奏楽	9
名詞	ピアノ	9
名詞	バレーボール	8
名詞	バドミントン *	8
名詞	サッカー	8

名詞	水泳 *	7
名詞	ゴルフ	7
名詞	料理	7
名詞	スイミング *	6
名詞	美術	6
名詞	体操	6
名詞	学習	6
名詞	楽器	6
名詞	野球	6
名詞	英語	6
名詞	ボーイスカウト	5
名詞	そろばん	5
名詞	空手	5
名詞	書道	5
名詞	剣道	5
名詞	習い事	5
名詞	ボルダリング	5
名詞	演奏	5
名詞	大会	5

名詞	日本舞踊	4
名詞	華道	4
名詞	新体操	4
名詞	バトミントン *	4
名詞	バイオリン	4
名詞	吹奏楽部	4
名詞	eスポーツ	4
名詞	実験	4
名詞	文化	4
名詞	地域	4
名詞	プロ	4
名詞	機会	4
名詞	必要	4

「＊」は同じ意味の言葉です

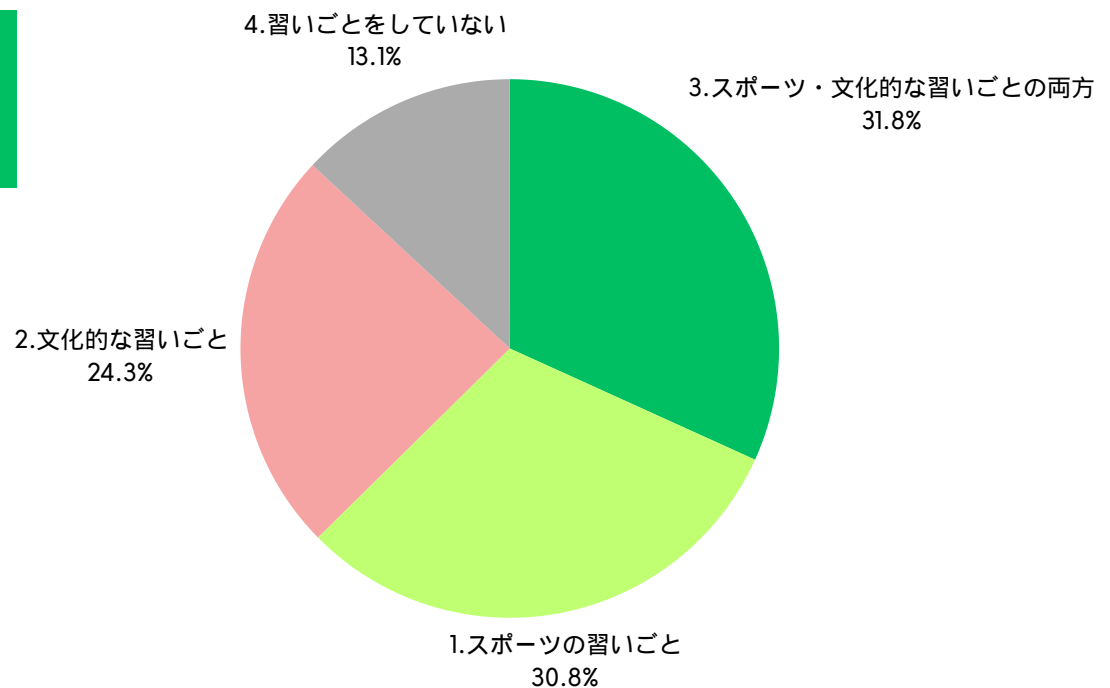
質問20

【小学生だけが回答】

今、学習塾^{じゅく い が い}以外で、どんな習いごと（スポーツ、文化活動）をしていますか？

- 小学生の学習塾^{じゅく い が い}以外の習いごとは多い順番に「3.スポーツ・文化的な習いごとの両方^{じゅんぱん}」「1.スポーツの習いごと^{ぶんかてき}」「2.文化的な習いごと」になりました
- それぞれどのような習いごとをしているかは次の質問^{しつもん}にあります

小学生の結果 (n=107)



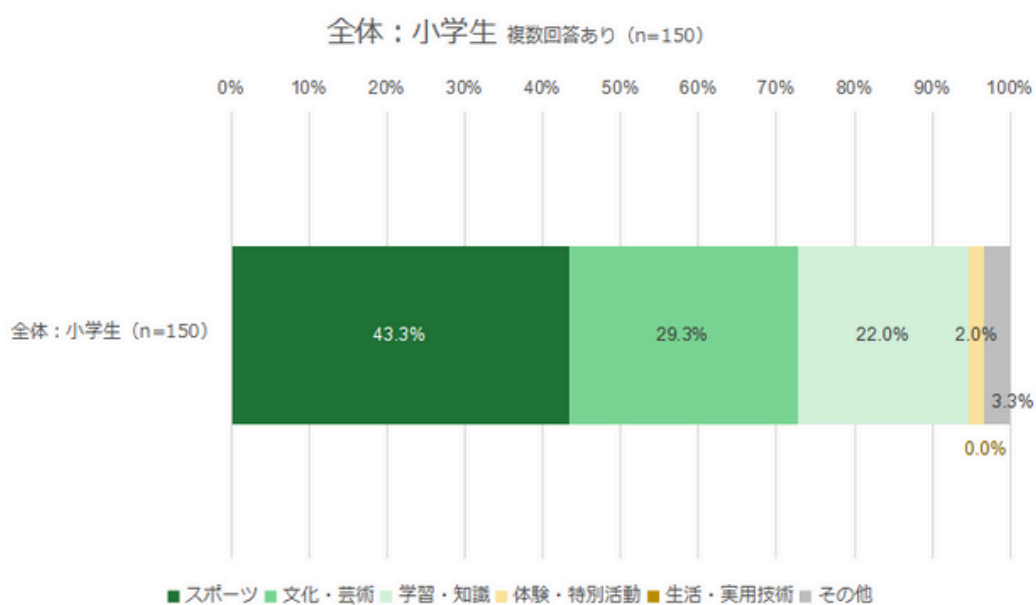
【小学生だけが回答】

質問21

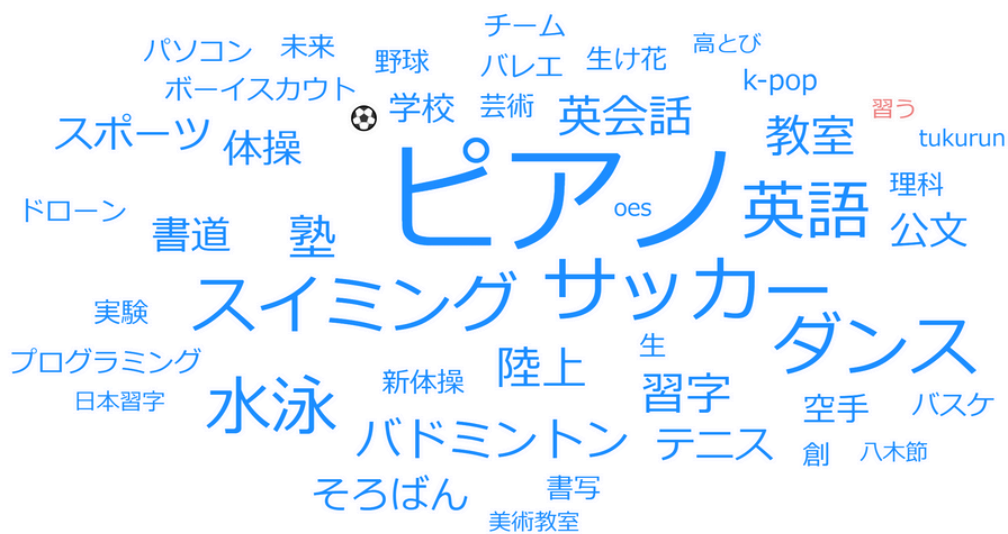
【質問20で「1・2・3」を選んだ人だけが回答】

今、行っている習いごとを具体的に教えてください 100字以内

- ・ 小学生の習いごとで、スポーツでは「スイミング（水泳）」「サッカー」「ダンス」などが多かったです
- ・ 文化・芸術^{げいじゅつ}では「ピアノ」「習字・書道」などが多かったです
- ・ 学習・知識^{ちしき}では「英語（英会話）^{えいご えいかいわ}」が多く「公文^{くもん}」「そろばん」などもありました
- ・ 群馬県施設の「tsukurun」という回答もありました



単語	出現回数
ピアノ	27
スイミング・水泳	22
英語・英会話	16
サッカー	14
ダンス	13
習字・書道	10
塾	6
陸上	6
体操	6
バドミントン	5
公文	4
そろばん	4
テニス	4



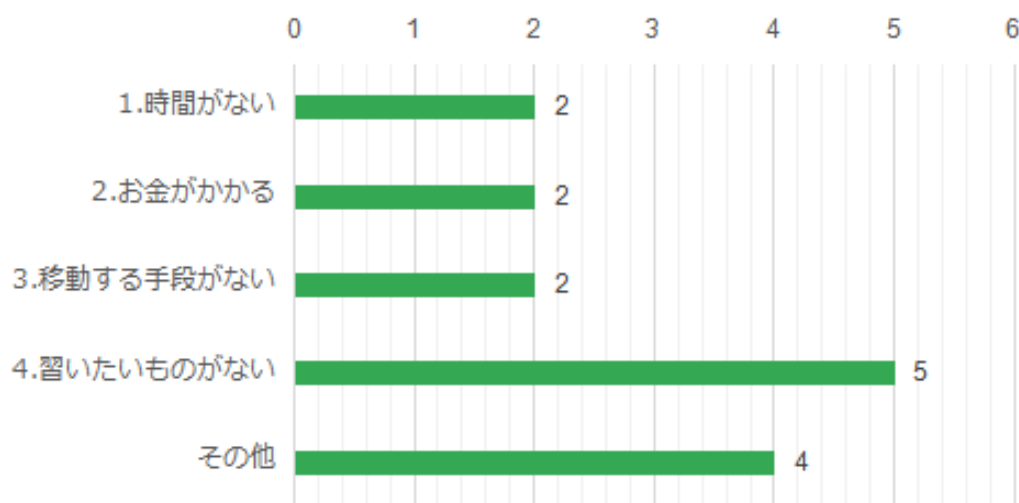
【小学生だけが回答】

質問22

【質問20で「4」を選んだ人だけが回答】習いごとをしていない、できない理由を教えてください。 ※いくつでも選べます

- 全体で15個の回答がありました
- その中で一番多かったのは「4.習いたいものがない」という理由でした

小学生回答 (n=15)



■その他回答抜粋

- 遊ぶのが楽しい
- 習い事より勉強を頑張りたいと言われます
- 飽きっぽい性格でみんな辞めてしまったから

～学校の部活動などについて～

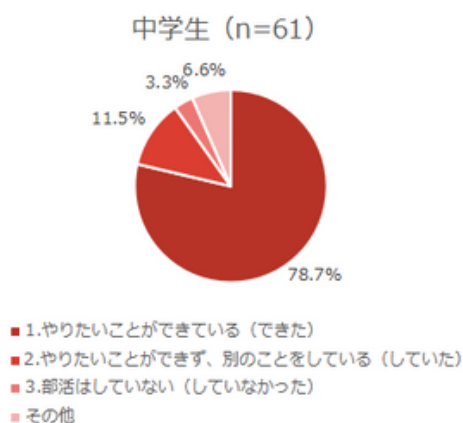
【中学生以上の人だけが回答】

質問23

中学校や高校の部活動で、やりたいこと（スポーツ、文化・学習系の活動）ができていますか（できましたか）？

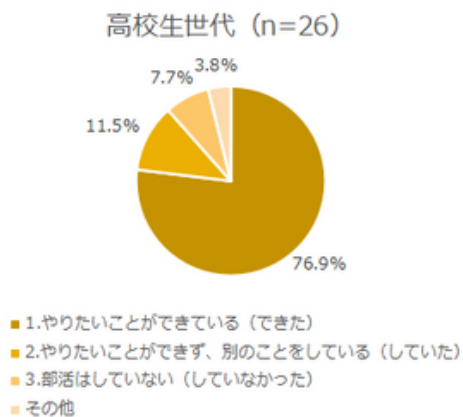
- ・ 全部の世代で75%以上が「1.やりたいことができている（できた）」でした
- ・ 「2.やりたいことができず別のことをしている（していた）」は中学生・高校生世代は11.5%、大学生世代は15.2%でした

年次別回答



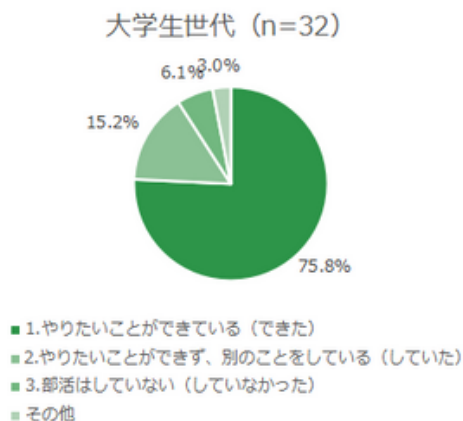
「その他」回答（4件）

- ・ やりたい事ではないが、そこそこ興味がある事なので楽しめている。しかし、他部活の一部兼部できたらもっと楽しめると思う。
- ・ 人数が多いと選手になれない
- ・ やりたいことができないが、そのまま続けている
- ・ 部活はあるが顧問に恵まれていないと思う。せっかく時間を使うのだから、ちゃんと指導してくれるコーチがいてくれたらいいなと思う。あと、部活が少なく選択肢が少ない。



「その他」回答（1件）

- ・ 一部できている



「その他」回答（1件）

- ・ できたけど続けられなかった

～学校の部活動などについて～

【中学生以上の人だけが回答】

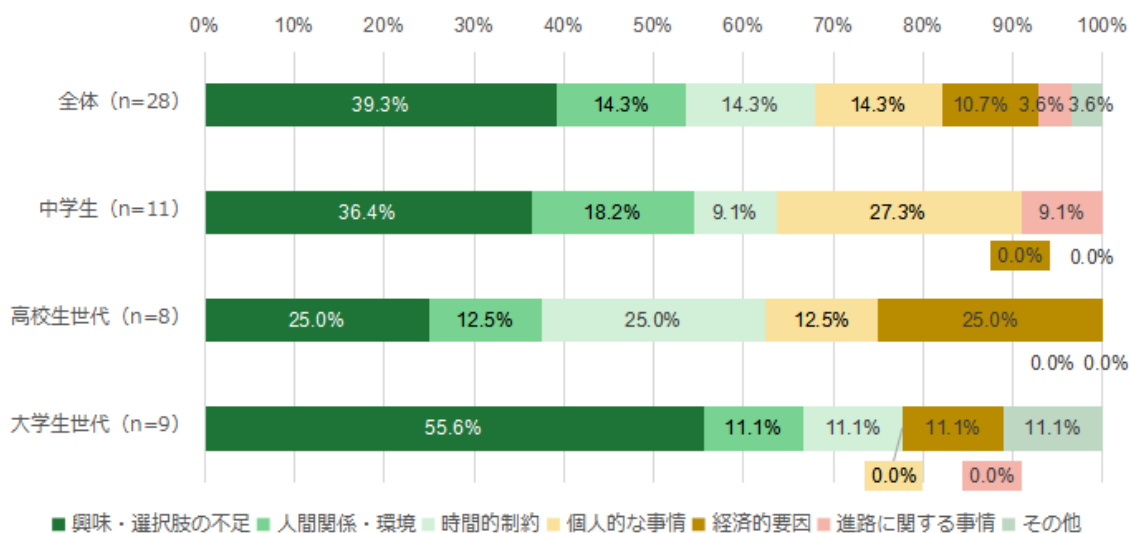
【質問23で「2」「3」を選んだ人だけが回答】

質問24 やりたいことができなかつたり、部活動をしていない（していなかった）理由を具体的に教えてください

100字以内

- 全体では、やりたい部活がなかったなどの「興味・選択肢の不足」が一番多く、大学生世代では50%以上でした
- 中学生では「進路に関する事情」がありました
- 高校生・大学生世代ではお金がかかるから、などの「経済的要因」があげられました

年次別パーセント



～具体的なコメント（抜粋）～

興味・選択肢の不足

- 部活動の数が少ない。文化部がない（中学生）
- あまり言い訳にしたいくないが過疎地域だったため選べる部活動の幅が狭く、やりたいものがなかった（大学生世代）

人間関係・環境

- 楽器の配分で、「おとなしそうだから」という偏見によって自分の好きな楽器を担当させてもらえない（中学生）
- バドミントンがやりたかったのですが、同じ学年の女子でバドミントンに入る人がいなかったから、1人で入りにくかったの、友達と一緒にの部活に入りました（高校生）

時間的制約

- 自分の時間が減るから。特に趣味や校外活動がしづらくなってしまうから（高校生世代）
- 文化部の選択肢が少なかつたり、高校では授業が多かったコースにいたため活動に参加できなかった（大学生世代）

経済的要因

- 美じゅつ部に入って油絵を書いてみたかったが、画材や専門的な道具は少し高く、すべてを充実させられるとは思えなかったため（高校生世代）
- 吹奏楽だったので資金が工面できる見込みがなかったため（大学生世代）

個人的な事情

- 部活が合わなかつた（中学生）

進路に関する事情

- 興味がある部活はなかったが、内申を考え仕方なく続けられそうな部活に入った（中学生）

～学校の部活動などについて～

【中学生以上で、部活動の経験がある人だけが回答】

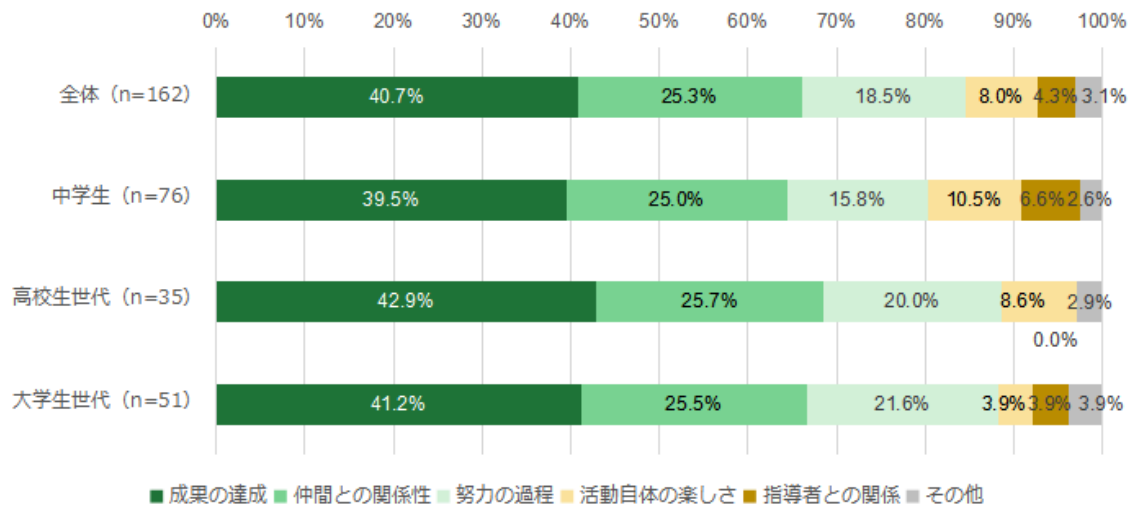
質問25

部活動をしていて、充実感を感じるのはどのようなときですか？
具体的に教えてください。

300字以内

- ・ 全体では、勝てたときなどの「成果の達成」が多く、次に「仲間との関係性」が多かったです
- ・ それぞれ、以下のようなコメントがありました

年次別パーセント



～具体的なコメント（抜粋）～

成果の達成

- ・ 試合に勝てたとき（中学生）
- ・ たくさん練習した後、コンクールで金賞が取れて次の大会に進んだとき（高校生世代）
- ・ 目標を達成した時も1つの成功体験になり、自信をつけられて、充実感を感じます（大学生世代）

仲間との関係性

- ・ 仲間と達成感や喜び、悲しみを感じあって、同じ部活をやっている仲間なんだと実感する時（中学生）
- ・ 仲間や応援してくれる人々と喜んだり、称えあったりするとき（高校生世代）
- ・ 学校を卒業した後に仲間たちの大切さや思い出などを思い返すと充実感が湧いてきます（大学生世代）

努力の過程

- ・ 自分が上達していると感じられるとき（中学生）
- ・ 新しいことが出来るようになったとき（高校生世代）
- ・ 皆で目標に向かって一致団結して取り組んでいるとき（大学生世代）

活動自体の楽しさ

- ・ 学校の友達と活動できるとき、ちゃんとした練習ができるとき（中学生）
- ・ 演奏をしていて、日頃から充実感があります（高校生世代）
- ・ 活動中に楽しさを感じた時（大学生世代）

指導者との関係

- ・ 強くなってチームに貢献し、メンバーやコーチに褒められたとき（中学生）
- ・ 顧問の先生がしっかりと教えてくれるとき（大学生世代）

その他

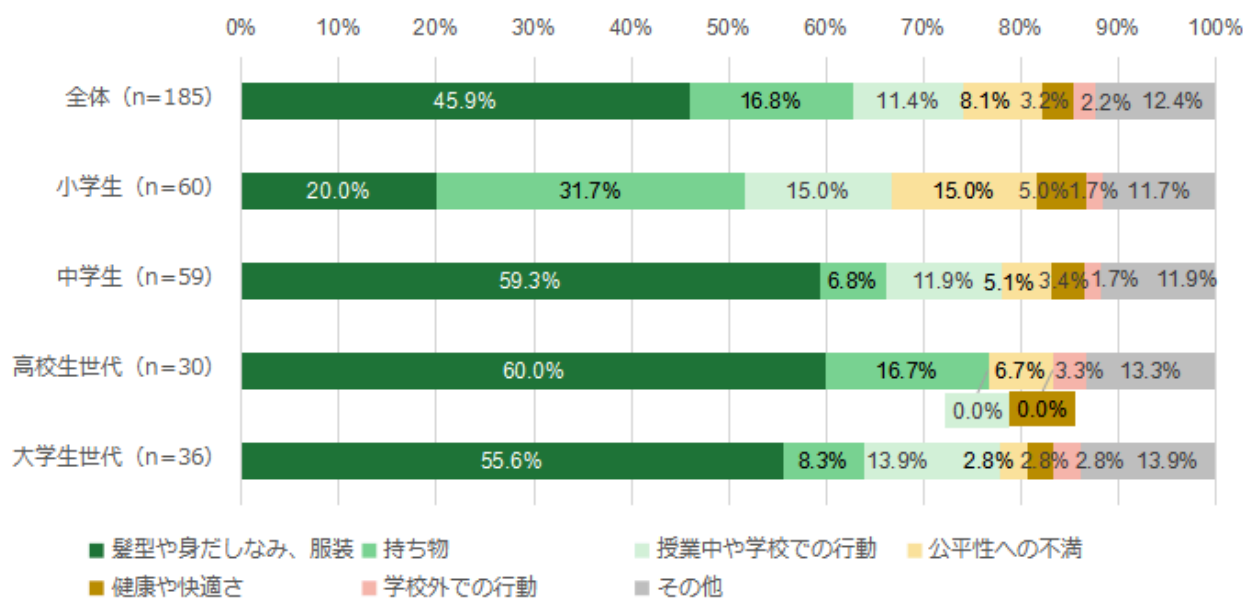
- ・ 夏休みが忙しくて充実感を感じた（中学生）
- ・ 大会などで新たな人と出会ったとき（高校生世代）

～学校の校則やルールについて～

質問26 学校で決められている校則やルールについて、 おかしいと思うこと（思っていたこと）はありますか？ 100字以内

- ・ 今回のアンケートの中で、たくさん回答があり、みなさんの関心の高さが分かります
- ・ 全体では「髪型や身だしなみ、服装」の意見が多く、小学生以外はこの項目が一番多かったです
- ・ 小学生は「持ち物」についてが一番多く、2番目が「髪型や身だしなみ、服装」でした
- ・ 校則やルールがなぜそうなのか「理由」を知りたいという声が多くありました

年次別パーセント



※具体的なコメント（抜粋）は次のページ

～学校の校則やルールについて～

質問26 学校で決められている校則やルールについて、 おかしいと思うこと（思っていたこと）はありますか？ 100字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

髪型や身だしなみ、服装

- ・ 髪の毛を染めてはいけないこと（小学生）
- ・ 白い靴下とか白い靴（小学生）
- ・ 髪型（ツーブロック禁止）（中学生）
- ・ 秋や冬で最近暑いときなのに半袖を出してはいけない（中学生）
- ・ 中学校で靴下は白指定なのにマフラーは白は禁止。髪型がポニーテール、ハーフアップ禁止。ブラウスとセーターのみの登校は禁止（ブレザーが必須）（高校生世代）
- ・ スカートの丈や靴下の丈（高校生世代）

持ち物

- ・ シャーペンを持ってはいけない（小学生）
- ・ 学校にキャラクターの物を持っていけない（小学生）
- ・ 制汗シートを使ってはいけないこと（中学生）
- ・ スマホを持っていけるのに、使う機会がないこと（中学生）
- ・ 荷物の入らない学校指定のカバンを使わなければいけないこと（高校生世代）
- ・ 小学校には赤ペン以外のペンを持って行ってはいけないこと（大学生世代）

授業中や学校での行動

- ・ 挨拶を徹底するなどのルールを追加して欲しい（小学生）
- ・ なぜ右側通行をしないといけないのか、左側通行でも良いと思う（小学生）
- ・ 授業中に水分補給をしてはいけないこと（中学生）
- ・ バス通学の方は自転車を使用してはいけない（中学生）
- ・ 他の教室に入るの禁止はおかしいと思った（大学生世代）
- ・ 使用する階段場所が学年ごとに決まっていたこと（大学生世代）

公平性への不満

- ・ 先生はしているのに生徒はしてはいけないものがある（小学生）
- ・ 入学定員数が男女決められていること（中学生）
- ・ 男女の差が激しい（高校生世代）
- ・ 私の時代は、男子は学ラン、女子はスカートと決められていました。今は選べる学校が増えていますが、ジェンダーレスが広まっているからこそ、選択肢を与えて欲しいです（大学生世代）

↓つづく

～学校の校則やルールについて～

質問26 学校で決められている校則やルールについて、
おかしいと思うこと（思っていたこと）はありますか？ 100字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

健康や快適さ

- 生徒のエアコンの温度調節が禁止（小学生）
- 日焼け止めを塗ってはいけない（中学生）
- エアコンを教員室で管理されているところ（大学生世代）

学校外での行動

- 下校に人の家に遊びにいったってはいけない一回家に帰ってから遊ぶ（小学生）
- 友達の家で宿泊禁止という校則（中学生）
- 自分の家に友達を泊めたり、友達の家で泊まっていたこと（高校生世代）
- アルバイト禁止（大学生世代）

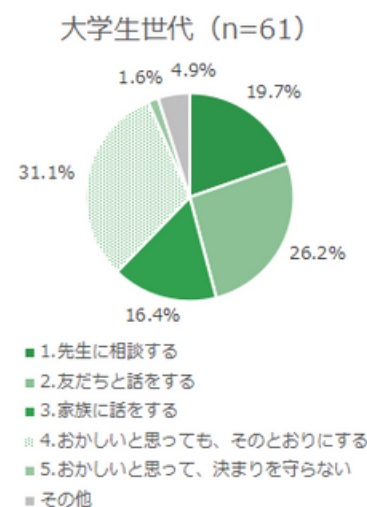
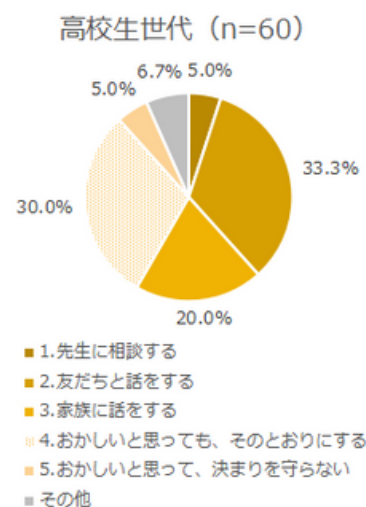
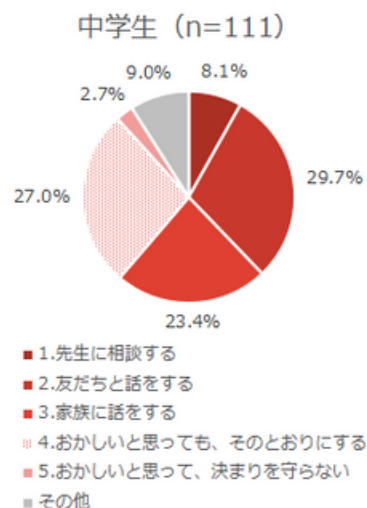
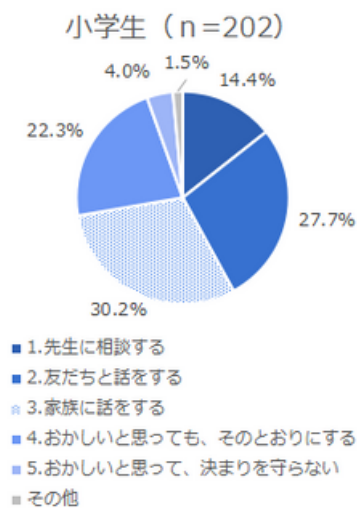
その他

- むりやり仲直りする（小学生）
- マラソン大会があるのはおかしいと思います（中学生）
- 校則を変える時に放課後に体育館に地域の人を呼んで話し合いをしていたこと（高校生世代）
- 全体的になんでダメなのかの説明がほしい、書いてあるからという理由でこどもに強制させるのはおかしい（大学生世代）

質問27 学校の校則やルールがおかしいと思ったとき、あなたならどうしますか？

- 小学生は多い順に「3.家族に話す」「2.友だちと話す」「4.おかしくてもそのとおりにする」でした
- 中学生と高校生世代は多い順に「2.友だちと話す」「4.おかしくてもそのとおりにする」「3.家族に話す」でした
- 大学生世代は多い順に「4.おかしくてもそのとおりにする」「2.友だちと話す」「1.先生に相談する」でした

年次別回答



「その他」回答抜粋

- 児童会や委員会に立候補して意見を言う (小学生)
 - 生徒会に持ちかけ学校全体で討論している (中学生)、生徒会本部に言う (中学生) ※
 - 行政の機関に相談 (高校生世代)
 - 生徒会の意見箱などに投書した (大学世代) ※
- ※生徒会をあげる意見は複数ありました

～学校の校則やルールについて～

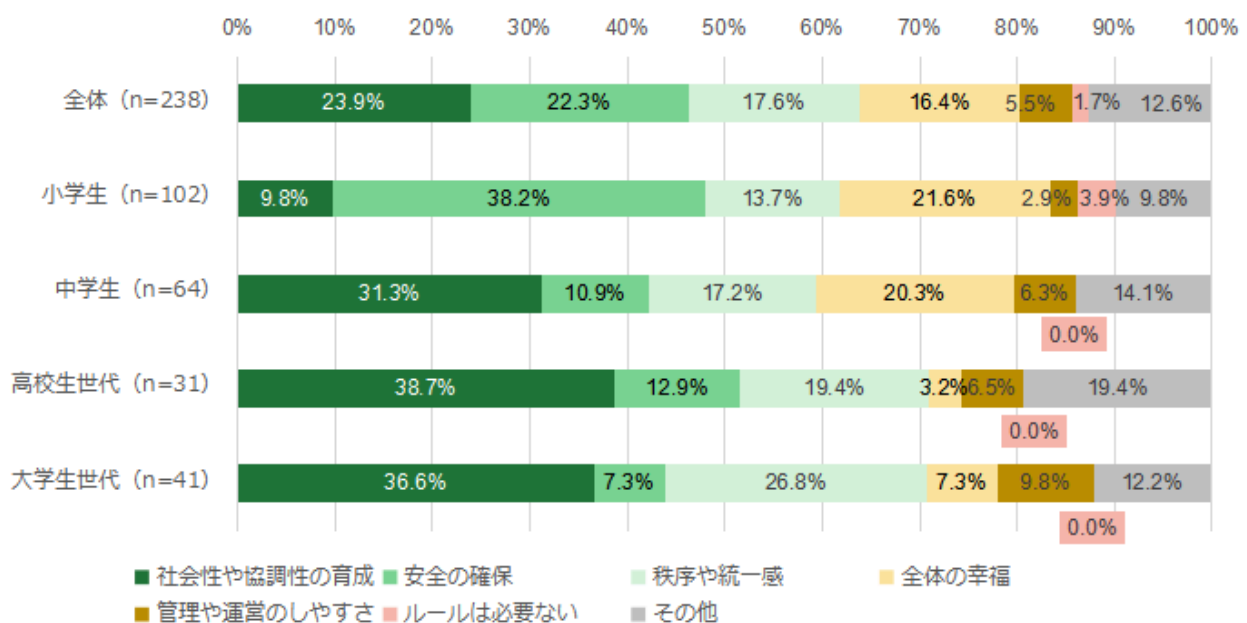
質問28 学校で決められている校則やルールは、なぜ必要だと思いますか？

100字以内

- 全体では「社会性や協調性の育成」「安全の確保」「秩序や統一感」などが理由として多く上がりました
- 小学生では、みんなが安全にすごすため、のような「安全の確保」が多かったです
- 中学生は多い順に「社会性や協調性の育成」「全体の幸福」「秩序や統一感」でした
- 高校生・大学生世代※は多い順に「社会性や協調性の育成」「秩序や統一感」まで同じで、高校生世代で3番目に多かったのが「安全の確保」、大学生世代は「管理や運営のしやすさ」でした
- コメントの中には「未来」や「将来」のため、という言葉も多くありました
- 「全体の幸福」の中では「差がないよう」「公平」「平等」のためという言葉も多くありました

※その他はのぞいた順番です

年次別パーセント



※具体的なコメント（抜粋）は次のページ

～学校の校則やルールについて～

質問28 学校で決められている校則やルールは、なぜ必要だと思いますか？

100字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

社会性や協調性の育成

- 大人になって社会に出てから必要になるから（小学生）
- 子どもの頃は多少のルールを破ることは許してもらえられ、大人になると刑務所に入れられるから大人になったときのための訓練をするためだと思います（小学生）
- 社会に出た時にあるルールや規則を守るための力をつけるため（中学生）
- ルールを守ること、公平性を保ち、協調性もうまれる（中学生）
- ある程度の社会性や協調性を学ぶため（高校生世代）
- 適度な規律を守ることや習慣化したり、団体行動に慣れるため（大学生世代）

安全の確保

- みんなが安全で楽しく遊んだり、勉強したりするため（小学生）
- ルールがないとけがなどにつながるから（小学生）
- 安心、安全な学校を目指すため（中学生）
- まだ判断力が育ちきっていない若い時に取り返しのでつかないことをするのを防ぐため。髪染めくらいなら戻りますがタトゥーなどは戻らないので将来後悔しないためにも一律で禁止とされるのも納得しています。また、見た目によって危険な人に絡まれることもなくはないと思うので制服が強制されるのもある程度納得しています（高校生世代）
- 学校生活において必要ないことでトラブルが生じないようにするため（大学生世代）

秩序や統一感

- ルールがないとみんなが、バラバラになってしまうと思います（小学生）
- 校則やルールがないと秩序が保てないから（中学生）
- ルールがないと統率がとれないため、必要だと思います（高校生世代）
- 学校の統率をはかるため（大学生世代）

全体の幸福

- みんなが気持ちよく過ごすため（小学生）※記載多数
- みんなでルールを守り平等にするため（小学生）
- 生徒、先生、地域の人々が不快な気持ちにならず、争いを起こさないためのもの（中学生）
- 学校で全員が気持ちよく過ごせるようにするため（高校生世代）
- 全員が全員の学習と学びを妨げないため（大学生世代）

～学校の校則やルールについて～

質問28 学校で決められている校則やルールは、なぜ必要だと思いますか？

100字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

管理や運営のしやすさ

- みんながバラバラなことをしていたら、先生たちもそれを抑えるのが大変だから（小学生）
- 大人が管理しやすい様に。1人の自由を認めると際限が無いから（中学生）
- 学校を一つにまとめるため。管理をしやすくするため（高校生世代）
- 生徒を統制するため、帰属感を与えるため（大学生世代）

ルールは必要ない

- 必要性を感じない（小学生）

その他

- 自分があたり前だと思っていることがきちんとできない人もいるから（小学生）
- 学校側としては「頭が良さそうに」みせるため（中学生）
- 学校としての雰囲気や学校外からのイメージなどの向上のため（高校生世代）
- 地域の人が見た目で苦情を出したり、過去の傾向・経験から（大学生世代）

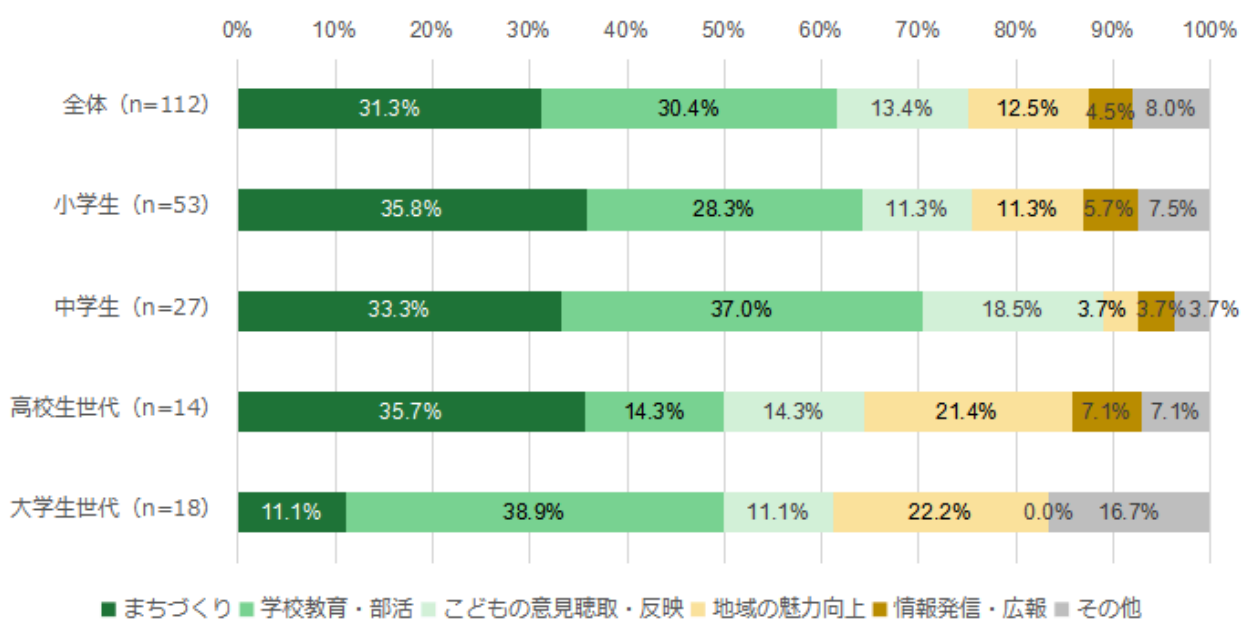
質問29

今回のアンケートに^{かんけい}関係することや、群馬県が行う^{こと}こどもに関するさまざまな取組について、^{つた}伝えたい意見があれば自由に書いてください。

300字以内

- ・ 全体では「まちづくり」「学校教育・部活」のコメントが多かったです
- ・ それぞれ、今回のアンケートに^{かんれん}関連したコメントや追加の意見をもらいました
- ・ この「こども・^{わかもの}若者の^き意見を聴く」取り組み自体への感想やもっと^よ良くするための意見をもらいました

年次別パーセント



※具体的なコメント（抜粋）は次のページ

質問29

今回のアンケートに^{かんけい}関係することや、群馬県が行う^{こと}こどもに関するさまざまな取組について、^{つた}伝えたい意見があれば自由に書いてください。

～具体的なコメント（抜粋）～

まちづくり（行政など）

- 学校に行きたくない時に行ける場所をたくさんふやしてほしい（小学生）
- いじめが、なくなって欲しい。大人は、仲良く遊んでいると思うかもしれないが、いじめは、突然^{とつぜん}おこる。急に仲間外れや、無視がおきて、先生や大人の前では、誰も言わない。子どもの気持ちを、聞いてくれる人が、親以外でもいたらいいのに、と、思ったけど、相談機関は、調査とかになっちゃうから、難しかった（小学生）
- 県にもっと留学を支援してほしい、外国語を学ぶ機会を増やして欲しい（中学生）
- 「中高生フェス」みたいなものを開きませんか？中高生は、最近、スマホしか見てないです。このままでは、中高生同士の交流は図れません。そこで、ぜひフェスと題して大掛かりなイベントを開催して欲しいです。私の近隣の生徒は『18祭』みたいなものを結構羨ましがっていたりします。ぜひご検討ください！！（中学生）
- 県の行政と高校生は普通の生活であまり関係がないように感じてしまうので、もっと自分たちの日頃の行事や仕組みが何によって成り立っているのか気づきや理解を深めることができるようなイベントや授業があると良いなあと思います（高校生世代）
- ノートPCの提供をしています、私たちの1個下の代から「自分で買う」か「有料でおさがりを借りる」かの2択を選択するようになりました。結局お金がかかるのであれば、あまり意味は無いと思います。どうしてもPCにお金を出せない、PCを使う環境が整っていない家庭はあります。そのため、PCを教育に取り入れていくのであれば、無償で環境を提供できるようにするべきです（大学生世代）
※中学生でも「高校時のパソコン購入について」同じ意見がありました

学校教育・部活

- 放課後の遊び場が人手不足で無くなったが、復活して欲しい（小学生）
- 群馬県は夏は暑いのでランドセルはきついです。考えてほしいです（小学生）
- 部活を無くさないで欲しい。地域クラブになって学校以外の場所で活動をするという場合、吹奏楽部の打楽器、大型楽器は運ぶのが難しい。また、やり方が変わるとなれるまでに時間がかかってしまい練習時間が減ってしまうのではないかと思います。先生方の負担も考えての改革なのだと思うが、こどもの意見を少しでいいので取り入れて欲しいと思う（中学生）
- 多様性が叫ばれている今日において、人に迷惑をかけるものでない校則は撤廃してあげたほうがいいと思う（大学生世代）

質問29

今回のアンケートに関係することや、群馬県が行うことにも関する
さまざまな取組について、伝えたい意見があれば自由に書いてください。

～具体的なコメント（抜粋）～

こどもの意見聴取・反映

- この様なアンケートをもっと広めて行って欲しい（小学生）
- 今回のアンケートを通して、群馬県の子ども達がより良い暮らしが送れば良いと思います（小学生）
- 校則に関係することは、生徒会に入っている人や、教師の方たちしか変えられないと思っていたので、このアンケートで思っていることが伝えられて嬉しいです（中学生）
- たくさん美術館や博物館がある事を知れた（高校生世代）
- 大人だけで決めるのではなく、実際のこどもの意見を聞いて物事を決めることはとてもいいことだと思う。これからも群馬県の教育をよくするために頑張してほしい（大学生世代）

地域の魅力向上

- 伝統文化を気軽に体験出来るイベントなどがあると良い（小学生）
- 親が群馬県出身ではないので、上毛カルタをする機会がありませんでした。地域の子ども会に参加していたら大会にでる機会もあったのかもしれませんが、小学校や中学校での授業でもふれてみて欲しかったです（中学生）
- 群馬に住む子ども達が群馬についてもっと詳しくなれるような機会が増えれば、群馬の魅力が伝わりやすくなると思う（高校生世代）
- 私は県外の大学に通っていて群馬県出身という馬鹿にされることが多いです。なぜなのかと考えた時に私はテレビやネットのニュースがよくないと思いました。群馬県を紹介するテレビ番組は大体群馬のことを馬鹿にしたり何もない場所前提で実はこんなにすごい場所がありますと言っています。なのでそもそもの前提がおかしく報道されているのでそれが何年も積み重なり今の全国の人の群馬のイメージになってると思います。なのでそこを変える必要があると感じました（大学生世代）

情報発信・広報

- 上毛かるたをもっとPRしてほしい（小学生）
- ボランティア関係の活動についてもっと知りたい（高校生世代）

【第2回お楽しみクイズ】

質問

「こども基本法」での「こども」は何歳まで？

答え

- (A) 5歳まで
- (B) 18歳まで
- (C) 年齢では区切っていない



かいせつ



こども基本法では「心と身体が成長の段階にある人」すべてを「こども」としています。年齢で区切らず、何歳でも、それぞれの状況にあったサポートができる社会をつくっていくことが大切だからです。

もっと詳しく

・ <https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-kihon/>

アンケートのご協力ありがとうございました。みなさんの声は今後の群馬県の取り組みに生かしていきます。

群馬県 生活こども課